



国立大学法人 奈良教育大学 2021年 大学概要

Nara University of Education 2021 CAMPUS GUIDE

目 次 CONTENTS

President message / Successive Presidents
沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4 Our history
大学の目的・大学の基本的な目標・・・・・・・・・・・・・・・6 The Aims of the University / Core Objective
大学の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7 University Characteristics
教育研究組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・8 Academic Organization
地域教育研究拠点・・・・・・・・・・・・・・9 Regional Education and Research Hub
法人運営組織/役職員・・・・・・・・・・・・・・・ 10 Administrative Organization of Corporation / Executives
経営協議会委員/教育研究評議会評議員/事務局・・・・・・・・・ 1] Management Council / Council Education and Research / Bureau Offices
職員現員・・・・・・・・ 12 The Number of University Staff
学生数・・・・・・・・13 The Number of Students
令和2年度までの卒業・修了者数(累計)・・・・・・・・・ 14 Total Number of Alumni and Alumnae
令和3年3月卒業・修了者の進路状況 ・・・・・・・・・・ 15 Job Placement Statistics 2021
取得可能な教員免許状・資格・・・・・・・・・・・・・・・16 Available Teaching Certificates and Qualifications
令和 2 年度卒業・修了者の教員免許取得状況 ・・・・・・・ 16 Undergraduates and Graduates with Teaching Certificates in the 2020 Academic Year
令和 3 年度入学状況 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
奨学制度・・・・・・・・・・・19 Tuition Reimbursement Program
国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・20 International Academic Exchange
ユネスコスクール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21 The UNESCO Associated Schools Project Network (ASPnet)
地域交流/令和3年度学生企画活動支援事業 ・・・・・・・・・ 22
Community Interaction / Student Activities Support Project 2021 教育研究に係る連携協定・・・・・・・・・・・・・・・・23 Education Agreement
単位互換に係る連携協定/地域連携/広報誌・刊行物紹介 ・・・・・・・ 24
Credit Exchange / Local Collaboration / Pamphlets and Publications 奨学寄附金受入状況/科学研究費補助金獲得状況/機能強化経費採択状況・・・ 25
Scholarship Donations Received / Acceptance of Application For Grant-in-Aid for Scientific Research / Acceptance of Functional Enhancement Fund 令和3年度 収入・支出予定額/土地・建物/施設の整備状況 ・・・・・・・ 26
Revenue and Expenditure in Fiscal Year 2021 / Land and Buildings / Upkeep of Facilities
Educational and Academic Support Organization / University Library
次世代教員養成センター・・・・・・・・・・・・・・・・・28 Teacher Education Center for the Future Generation
国際交流留学センター/自然環境教育センター・・・・・・・・・・・・ 29 Center for Intercultural Exchange and Studies / Center for Natural Environment Education
特別支援教育研究センター/理数教育研究センター・・・・・・・・ 30
イカリス1及3月前1九ピングーグ 建数3月前1九ピングー Center for Special Needs Education / Center for Educational Research of Science and Mathematics
Center for Special Needs Education / Center for Educational Research of Science and Mathematics 保健センター/福利厚生施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
Center for Special Needs Education / Center for Educational Research of Science and Mathematics 保健センター/福利厚生施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Center for Special Needs Education / Center for Educational Research of Science and Mathematics 保健センター/福利厚生施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Center for Special Needs Education / Center for Educational Research of Science and Mathematics 保健センター/福利厚生施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Center for Special Needs Education / Center for Educational Research of Science and Mathematics 保健センター/福利厚生施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

学長挨拶/歴代学長・・・・・・・・・・・・・・・3



奈良教育大学イメージキャラクター

The mascot of N.U.E.

なっきょん (平成 20 年制定)

【制作者】

デザイン 萩田菜穂子さん (平成19年度教育学部卒業生)

【愛称】

石川康恵さん (大学院) 松原正之さん (教育学部) 近藤花梨さん (教育学部)

※所属は制定時

◆コンセプト

創立 120 周年を記念して誕生したイメージキャラクター「なっきょん」。 奈良のシンボルであるシカをモチーフ に、教育大学の「育つ・育てる」とい うイメージを角の新芽(ふたば)に表 現しています。



学章

The school badge of N.U.E.

本学学章は、「大学」の文字を中央に、その左右は天平雲をモチーフにしたデザインとなっています。昭和 25 年制定。



シンボルマーク

The emblem of N.U.E.

天平雲 (てんぴょうぐも)

制作者 田中 一光 氏 (1930~2002) 奈良市出身 グラフィックデザイナー

◆ コンセプト

寧楽書院からの伝統を受け継ぎ、教育者を育成する国立大学として、古都奈良に位置するという伝統をふまえて、現在使われている雲のマークをモチーフに、これを現代的に昇華するようにデザインしました。この雲は世界を結び、人と人を結ぶかけ橋となる人材をそだてる奈良教育大学にふさわしい、シンボルマークとなるよう、軽快でしかも品位あるかたちを追求しました。(文:田中一光氏・平成11年)

学長挨拶 President message

本学は、明治21 (1888) 年に奈良県尋常師範学校として創設されて以来、130有余年の歴史を有する地域の教育とともに歩む教員養成大学です。昭和18年の奈良県女子師範学校の合併、昭和19年の奈良県青年師範学校の合併などを経て、昭和24 (1949)年5月に新学制発布のもと奈良学芸大学が設置され、昭和41 (1966)年に奈良教育大学と改称し、現在に至っています。この間、一貫して教員養成大学としての教育と研究の充実・発展を図りながら、数多くの優秀な教員を世に送り出してまいりました。

教育学部(学校教育教員養成課程 入学定員255名)と大学院教育学研究科(修士課程(入学定員45名)と専門職学位課程(教職大学院 入学定員25名))をそれぞれ有し、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究することにより、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命としております。

特に、第3期中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義務教育諸学校の教員養成機能に関して中心的役割を果たし、さらに、「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクールとしての実績を発展させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進めることにより地域の教育の発展・向上に寄与することを基本的目標とし、特に以下の点に重点的に取り組んでまいります。

- ・持続可能な社会の創造に寄与しうる教育を推進するため、実践的指導力、自ら課題を発見し恊働的に探究できる能力及びグローバルな視野を備え新たな学びに対応できる能力を身に付け、その向上を目指して常に学び続ける教員を養成する。
- ・研究の成果に基づいた教育及び実践的活動を推進するため、教育の基盤となる知の創出と教育的課題への対応を主軸とした研究ならびに奈良の地に根差した個性ある学際的教育研究をいっそう深化・発展させる。
- 教員研修ならびに地域の教育課題に対応するため、教育委員会や義務教育諸学校 等との協働の取組を拡充し、地域の教育に対する支援を強化する。

本概要は、本学の現状や取組を図表や数値データ等でわかりやすくお示しするものとして、毎年発行しております。 本学ホームページとともに本学をご理解いただくための資料としてご活用いただければ幸いです。

https://www.nara-edu.ac.jp/

令和3年(2021)年6月30日 国立大学法人 奈良教育大学学長

加藤 久雄



奈良教育大学学長 President 加藤 久雄 Kato Hisao

■ 歴代学長 Successive Presidents

氏 名	在任期間
落合 太郎	昭和 24.5.31 ~昭和 29.3.31
Ochiai Taro	May. 31, 1949 - Mar. 31, 1954
能勢 朝次	昭和 29.4.1 ~昭和 30.2.24
Nose Asaji	Apr. 1, 1954 - Feb. 24, 1955
宮本 陸治 (事務取扱)	昭和 30.2.25 ~昭和 30.9.30
Miyamoto Mutsuji	Feb. 25, 1955 - Sep. 30, 1955
稲荷山 資生	昭和 30.10.1 ~昭和 46.9.30
Inariyama Sukeo	Oct. 1, 1955 - Sep. 30, 1971
井上 智勇	昭和 46.10.1 ~昭和 52.9.30
Inoue Chiyu	Oct. 1, 1971 - Sep. 30, 1977
小林 章	昭和 52.10.1 ~昭和 58.9.30
Kobayashi Akira	Oct. 1, 1977 - Sep. 30, 1983
藤永 太一郎	昭和 58.10.1 ~平成元年 9.30
Fujinaga Taichiro	Oct. 1, 1983 - Sep. 30, 1989
後藤 稠	平成元 .10.1 ~平成 5.9.30
Goto Shigeru	Oct. 1, 1989 - Sep. 30, 1993
赤井 達郎	平成 5.10.1~平成 11.9.30
Akai Tatsuro	Oct. 1, 1993 - Sep. 30, 1999
大久保 哲夫	平成 11.10.1 ~平成 15.9.30
Okubo Tetsuo	Oct. 1, 1999 - Sep. 30, 2003
柳澤 保德	平成 15.10.1 ~平成 21.9.30
Yanagisawa Yasunori	Oct. 1, 2003 - Sep. 30, 2009
長友 恒人	平成 21.10.1 ~平成 27.9.30
Nagatomo Tsuneto	Oct. 1, 2009 - Sep. 30, 2015
加藤 久雄	平成 27.10.1 ~現在
Kato Hisao	Oct. 1, 2015 -





MOBILE SITE

携帯電話から最新情報にアクセス



沿革

Our history

明治7年 6月 4日	教員伝習所として興福寺内に「寧楽書院」を創設
明治8年 3月 1日	伝習所を奈良(小学)師範学校と改称
明治21年 7月31日	奈良県尋常師範学校を創設し、校舎は奈良町大字登大路 23 番地の公園地借用(同年 11 月 18 日開校式)
明治31年 4月 1日	師範教育令により、奈良県尋常師範学校を奈良県師範学校と改称
明治38年 4月 1日	奈良県女子師範学校を創設(奈良県師範学校女子部を廃止)
昭和18年 4月 1日	師範教育令の改正により、奈良県師範学校及び奈良県女子師範学校が官立に移管、合併
П ЛПТО — 1/1 1 П	し、奈良師範学校と改称
昭和19年 4月 1日	奈良県青年師範学校教員養成所及び青年学校教員養成所臨時養成科が官立に移管、合併
	し、奈良青年師範学校と改称
昭和24年 5月31日	国立学校設置法の公布により、奈良師範学校及び奈良青年師範学校を包括し、奈良学芸大学を設置
昭和33年10月10日	大学が米軍キャンプ奈良C地区(現在地・高畑町)に移転
昭和41年 4月 1日	国立学校設置法の一部を改正する法律(昭和41年法律第48号)により、奈良教育大学
明相41十 4月 1日	当立于校成直伝の 即で以上する仏庫 (相相 41 平仏庫第 40 号) により、京及教育八子 と改称
昭和58年 4月 1日	大学院教育学研究科修士課程を設置
昭和63年11月18日	創立 100 周年記念式典を挙行
平成4年 4月 1日	特殊教育特別専攻科情緒障害教育専攻を設置
平成7年 4月 1日	総合文化科学課程を設置
平成11年 4月 1日	学校教育教員養成課程を設置
	総合教育課程を設置(総合文化科学課程を廃止)
平成16年 4月 1日	国立大学法人法の公布により、国立大学法人奈良教育大学を設置
	大学院教育学研究科修士課程を改組
平成19年 4月 1日	特殊教育特別専攻科情緒障害教育専攻を特別支援教育特別専攻科情緒障害・発達障害教
	育専攻と改称
平成20年 4月 1日	大学院教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)を設置
	大学院教育学研究科修士課程を改組
平成20年11月22日	創立 120 周年記念式典を挙行
平成23年 3月24日	教育研究支援機構を設置、大学附置センターを再編
平成24年 4月 1日	教育学部を改組(入学定員 255 名すべてを学校教育教員養成課程で募集、総合教育課程
	の募集停止)
平成24年10月 1日	京阪奈三教育大学連携推進室を設置
平成26年 4月 1日	大学附置センターを再編
平成28年 4月 1日	大学院教育学研究科を改組(特別支援教育特別専攻科を廃止)
平成29年 9月 1日	地域教育研究拠点を設置
	教員組織の一元化
平成30年 7月27日	国立大学法人奈良女子大学と連携協議に関する合意書を調印
令和元年 6月28日	国立大学法人奈良女子大学と国立大学法人奈良設立に関する合意書を調印



奈良師範学校 (明治 25 年)

Jul. 27, 2018

Jun.28, 2019



師範学校附属小学校正門 (明治 43 年頃)



師範学校職員及び教生 (明治末期)

Jun. 4, 1874	Neiraku Shoin private school was established in the precincts of Kofukuji Temple. The private school was to meet the needs of training
M 4 4075	teachers and was also called Kyouin Densyuu-jo.
Mar. 1, 1875	The Kyouin Densyuu-jo was renamed Nara Normal School for Primary Education.
Jul. 31, 1888	Nara Prefectural Normal School for Primary Education was established. The campus for the school was a leased area of a park. The address of the park was 23 Nobori-Ohji, Oh-aza, Nara-machi. (The inauguration ceremony for the school was held on 18th November in the same year when it was established.)
Apr. 1, 1898	Nara Prefectural Normal School for Primary Education was renamed Nara Prefectural Normal School in accordance with Educational Acts for Normal Schools.
Apr. 1, 1905	Nara Prefectural Women's Normal School was established. (Accordingly, Women's Department of Nara Prefectural Normal School was abolished.)
Apr. 1, 1943	Nara Prefectural Normal School and Nara Prefectural Women's Normal School were nationalized and merged. Both of them, hereby, were renamed Nara Normal School. All these changes were made in accordance with the amendments for Educational Acts for Normal Schools.
Apr. 1, 1944	Teachers' Training Center of Nara Prefectural Young Men's School and Temporary Teachers' Training Department attached to the school were nationalized and merged. Hereby, they were renamed Young Men's Normal School of Nara Prefecture.
May 31, 1949	Nara Normal School and Young Men's Normal School of Nara prefecture were merged. Nara University of Liberal Arts, hereby, was established in accordance with Acts for Establishing National Schools.
Oct. 10, 1958	University Campus was transferred to Nara "C" Area allotted to American Occupation Forces. University Campus is still situated in the area (Takabatake-cho).
Apr. 1, 1966	Nara University of Liberal Arts was renamed Nara University of Education in accordance with the amendments for Acts for Establishing National Schools (Amendment No.48 in 1967) Training Course for Teachers for Handicapped Children was established.
Apr. 1, 1983	Graduate School of Education Master's Course was established.
Nov. 18, 1988	The Ceremony for Centennial Anniversary of Establishment of the University was held.
Apr. 1, 1992	Special Course for Teachers for Special Education (Postgraduate Course) Major of Education for Emotionally-Disturbed Children was established.
Apr. 1, 1995	Integrated Cultural Studies and Sciences Course was established.
Apr. 1, 1999	Department of Teacher Training and School Education was established. Department of Comprehensive Education was established.
Apr. 1, 2004	The National University Corporation Nara University of Education was established under the legislation of National University Corporation Law.
	Reorganization of the Graduate School of Education Master's Course.
Apr. 1, 2007	Special Course for Teachers for Special Education (Postgraduate Course) Major of Education for Emotionally-Disturbanced Children was renamed Special Course for Teachers for Special Support Education Major of Education for Emotionally-Disturbanced Children and Developmental Disable Children.
Apr. 1, 2008	School of Professional Development in Education was established. Reorganization of the Graduate School of Education Master's Course.
Nov. 22, 2008	The Ceremony for 120th Anniversary of Establishment of the University was held.
Mar. 24, 2011	Reorganized the University Affiliated Centers into the Educational and Academic Support Organization.
Apr. 1, 2012	Reorganization of the Faculty of Education. (Recruited entire admission capacity of 255 students to the Department of Teacher Training and School Education, and stopped recruiting for the Department of Comprehensive Education.)
Oct. 1, 2012	Office for Promoting Collaboration of Three Universities of Education in Kyoto, Osaka and Nara was established.
Apr. 1, 2014	Reorganized the University Affiliated Centers.
Apr. 1, 2016	Reorganization of the Graduate School of Education. (Accordingly, the Special Course for Teachers for Special Support Education Major was abolished.)
Sep. 1, 2017	The Regional Education and Research Hub was established. Staff organization was unified.

Agreement with Nara Women's University concerning the establishment of National University Corporation Nara was signed.

Collaborative conference agreement with Nara Women's University was signed.

奈良の地で一学び創造、

大学の目的 The Aims of the University

奈良教育大学は、学芸の理論とその応用とを教授研究し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有 能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。

Our aim at the Nara University of Education is to teach and research both the theoretical and practical aspects of education and culture and to nurture education professionals who are both knowledgeable and experienced. We also enhance the local culture of our region.

大学の基本的な目標 Core Objective

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究すること により、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄 与することを社会的使命とします。

第3期中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義務教育諸学校の教員養成機能に関し て中心的役割を果たします。さらに、「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクー ルとしての実績を発展させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進 めることにより地域の教育の発展・向上に寄与します。

Our core objective is to carry on school tradition which respects academics and arts for education and culture we have inherited from our predecessors to teach and research educational theory and its application as a means both for nurturing deeply well-rounded and cultured human resources who are capable teaching professionals, and for contributing to the development and advancement of education in Japan.

During the period encompassing our third medium-term objective, based on the redefinition of our mission, we will fulfill our central role as a nurturer of teaching professionals at compulsory education schools in our communities. Furthermore, we will develop practical experience as a UNESCO Associated School, aiming to nurture teaching professionals who not only understand the joy of learning, but also continue to learn themselves. We will make strides in research and practice based on this philosophy as an educational base for sustainable development, all in effort to contribute to the growth and improvement of community education.



Making Nara a Center for Learning

大学の特色(奈良教育大学の3つの柱) University Characteristics (The Three Pillars of Nara University of Education)

人・環境・文化遺産との対話を通した教育の追究

Education founded in interaction with people, the environment, and cultural heritage

本学は、古都・奈良の中心に位置し、豊かな自然や世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。また、奈良 国立博物館・奈良文化財研究所との連携によって、奈良で学ぶ喜びを実感しながら、感性を磨くことができます。 このような恵まれた環境の中、全学生数が約 1000 名という特長を生かし、アクティブ・ラーニングを重視した対話型 の授業や、研究室ゼミでの丁寧な指導により、学問・芸術・スポーツ等を深く追究します。

人と対話し、環境や世界遺産と対話することを通して、確かな学力を基盤とするコミュニケーション能力やプレゼンテー ション能力など、教員として必要な資質・能力を着実に身に付けることができます。

Nara University of Education is located in the center of the ancient capital of Nara. We are surrounded by a rich natural environment, and numerous examples of traditional cultural heritage, including World Heritage Sites. Students can refine their sensibilities while experiencing the thrill of studying in Nara through our ties with the Nara National Museum and the Nara National Research Institute for Cultural Properties.

In this positive environment, students energetically pursue academics, art, sports, and other fields through interactive classes emphasizing active learning and attentive instruction in laboratory seminars, while taking advantage of our size, with a student body of about 1,000 students.

Through interaction with people, the environment, and World Heritage Sites, students can steadily master the qualities and abilities needed as a teacher, such as communication and presentation abilities based on a foundation of solid academic skills.

持続可能な社会づくりに貢献できる教員の養成 Creating teachers able to help create a sustainable society

本学は、附属学校園とともにユネスコスクールに認定されています。また、「持続可能な開発のための教育」(ESD:

Education for Sustainable Development)の推進拠点として研究を重ねています。 これからの学校教育は、すべての校種・教科等において、「持続可能な社会づくりの担い手」を育成することが求められ ます。本学では、環境、文化、平和、人権等、ESDの対象となる様々な課題に対応できるカリキュラムを用意し、教員 を目指す全学生が ESD についての知識、指導方法を身に付けることができるよう取り組んでいます。

このような教育を通し、「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)の実現を目指す大学として、 地域や社会へ貢献しています。

Our university, together with our attached schools, is certified as a UNESCO Associated School. We are conducting extensive research as a hub promoting Education for Sustainable Development (ESD).

In the school education of the future, there will be a need to develop people capable of creating a sustainable society, in all types of schools and courses of study. We have prepared a curriculum that can address a variety of issues covered by ESD, including the environment, culture, peace, and human rights, and we are working hard to ensure that all students striving to be teachers can master knowledge and instructional methods relating to ESD.

Through this sort of education, we are contributing to the community and society, as a university aiming to bring about Sustainable Development Goals (SDGs).

教員養成と教員研修の融合

Integration of teacher development and teacher training

本学は、「教員養成」と「現職教員研修」を大きな責務としています。教員養成では、実習を含む大学の授業やスクールサポー トなどの自主的体験活動が中心となります。教員研修では、本学教員が現職教員へ最新の知見を提供し、アドバイスを行っ

さらに、本学学生が現職教員研修に参加することや、本学教員が地域の学校や子供との関わりから得た知見を大学の授 業に提供することを通し、「教員養成」と「教員研修」の融合を図っています。

この取組は全国的にも高く評価され、大学在学時から教員就職後まで、一貫した実践的指導力と研究遂行能力の育成を 行っています。

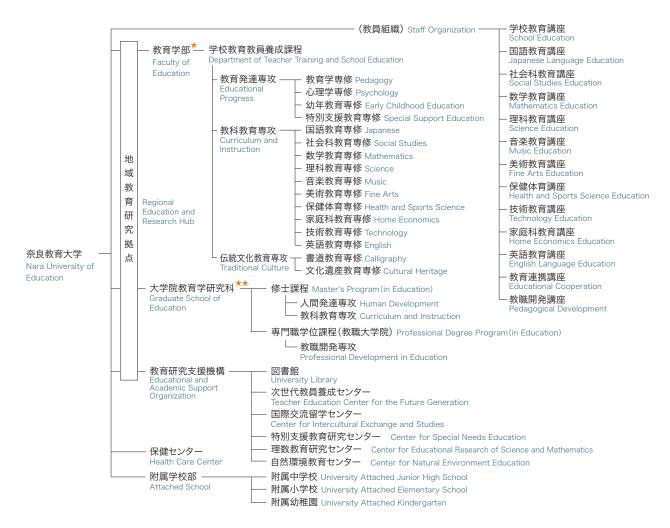
We regard teacher development and training of teaching professionals currently working as two of our major responsibilities. In teacher development, the focus is university classes, including practical training, and independent experience activities such as school support. In teacher training, our teaching staff provide the latest ideas and advice to working teachers.

To further integrate teacher development and teaching training, our students participate in the training of teaching professionals who are already working, and our teaching staff offer knowledge gleaned from involvement with community schools and children, in their university classes.

These initiatives are highly regarded throughout Japan, and from the time a student attends our university until after they find employment as a teacher, we consistently cultivate their capabilities in terms of practical instruction and carrying out research.

教育研究組織

■教育研究組織機構図 Academic Organization Chart



■教育学部 Faculty of Education

学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training and School Education

<入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)> Admission Policy

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長し たいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文 化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学 びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力を もつ学生を求めます。

- 1 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
- 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
- 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と 表現力を磨きつづける意欲をもつ人
- 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働し ながら課題の解決に立ち向かうことができる人
- 5. 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

<入学者選抜の基本方針>

奈良教育大学は、教育学部の入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー) に基づき、一般選抜 (前 期日程・後期日程)、総合型選抜、帰国生徒特別選抜ならびに私費外国人留学生特別選抜によ り入学者を選抜します。

- 般選抜では、大学入学共通テストおよび本学で実施する試験等の成績と、調査書等の内容を 総合して評価します。

総合型選抜では、第1次選考において、教育学部共通選考および専修別選考等の結果を総合し て評価し、第2次選考においては、大学入学共通テストの成績に基づき評価します。

帰国生徒特別選抜では、自己推薦書、成績証明書等、小論文ならびに面接の結果を総合して評

-私費外国人留学生特別選抜では、本学で実施する試験の成績・面接等の結果を総合して評価し ます。

Nara University of Education supports the upbringing of children who are the future, and communicates the joy of learning. It is a place where students who want to grow as people can come together and learn from each other. Indepth learning is achieved by leveraging the advantages of a small university located in a rich natural environment near world heritage sites and many other precious cultural properties

As fellow students who will learn together in their quest to be teachers, the Faculty of Education of Nara University of Education looks for students with the following desires and capabilities.

- 1. A desire to be closely involved with the growth and development of children
- 2. A desire to build a better society through education
- 3. An appreciation for culture, science, and art, and a desire to continuously refine the thinking and expressive skills needed to communicate those values to children
- 4. The ability to take in the views and feelings of others, express one's own opinions and thoughts, and solve problems while communicating with others
- 5. The basic scholastic abilities and skills needed for self-directed learning in the Faculty of Education

Basic Principles for Admission Selection

Based on the Faculty of Education's Admission Policy, Nara University of Education will grant admission based of the Facility of Education Runnison Tolloy, Nara dividesly of Loucation Min glant admission to students based on general selections (first- and second-round sittings), comprehensive selections, special selections for returnee students, and special selections for privately-funded foreign students. For admission by general selection, grades from the Common Test for University Admissions and university-administered examination, etc., as well as content of assessment reports, will be evaluated

r-ur aumission by comprehensive selection, results of Faculty of Education general selection and course-specific selection, etc., will be evaluated comprehensively in the first selection, and evaluation will be based on grades from the Common Test for University Admissions in the second selection. In the case of the special selections for returnee students, an overall evaluation is made based on a personal statement, academic results, a short essay, and the results of an interview. In the case of the special selections for foreign students studying at their own expense, an overall evaluation is made based on the student's score on a test administered by our university, an interview, and other factors.

<学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)> Degree Conferment (Diploma) Policy

教育学部では、次の5つの能力を規準に各授業科目の単位認定を行い、必要単位数を取得した 者に学位を授与します。

- 1 現代社会の課題を把握し、教育を構想する力【教育構想力】 現代日本の保護を10種じ、教育を博成するが「教育情感力」 現代日本の社会と学校教育に関する幅広い知識をもとに、現代的な教育課題に 対応した教育活動を構想することができる 子どもの発達と学習を理解する力【子ども理解力】
- 人間の成長・発達と学習に関する基礎的な知識をもとに、幼児児童生徒の成長・発達を促す教育実践のあり方をイメージすることができる 専門的に指導をする力【専門的指導力】 集団と個に対する指導・支援に関する基礎的な知識・技能及び各教科等の内容・
- 教材に関する専門的な知識・技能をもとに、学校現場における適切な指導・支援の 方法を計画・実施することができる
- 万法を計画・実施することができる 多様な人とつながるカ [コミュニケーションカ] 学校関係者 (保護者・地域住民・同僚教員・管理職など) に関する基礎的な 知識をもとに、幼児児童生徒の教育を巡って適切に関わることができる 自らの教職キャリアを切り拓くカ [職能成長力] 教員としての使命感と子どもに対する愛情にもとづき、自らの教員としての生き方・ あり方を自己決定するとともに、教職をめぐる新たな課題に粘り強く立ち向かいながら、 自己専用をけれることができる。 自己実現をはかることができる
- In the Faculty of Education, we approve credits for each subject based on the following five abilities. A degree is conferred on students who have earned the necessary number of credits.
- The ability to understand issues in modern society, and formulate educational activities [Ability to implicate educational activities]
- formulate educational activities]
 Students should be able to formulate educational activities in line with modern educational issues, based on a wide range of knowledge pertaining to society and school education in modern Japan

 2. The ability to understand the development and learning of children [Ability to understand children]
 Students should be able to imagine the best approaches to educational practice for promoting the growth and development of preschoolers and school children, based on fundamental knowledge regarding the growth, development, and learning of human beings

 3. The ability to provide seculification to the seculification of the seculification to the secul
- The ability to provide specialized instruction [Ability to provide specialized instruction]
- Students should be able to plan and implement instructional/supportive methods appropriate for school settings, based on fundamental knowledge and skills relating to instruction/support for groups and individuals, and specialized knowledge and skills relating to the content and instructional materials of each course of study

4. Ability to relate to diverse people [Ability to communicate]
Students should be capable of appropriate engagement in the education of preschoolers are children, based on fundamental knowledge concerning people involved with schools (e.g., guardians, local residents, teacher colleagues, administrative staff)

S. Ability to advance one's own teaching career [Ability to grow in occupational abilities]
Students should be able to determine their own approach to living and being a teacher, based on their
sense of mission as a teacher and warm-heartedness toward children, and should also be capable
of striving for self-realization while tenaciously confronting new issues pertaining to the teaching
profession

■大学院教育学研究科

Graduate School of Education

修士課程 Master's Program

<入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)> Admission Policy

広く教育関係諸科学を研究し、教育実践に関する科学的研究を深めることによって、豊かな人 間性と高度な専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する高度専門職業 人としての教員を養成します。そのことを通して、奈良県および近隣地域における、高度な力量を持った教員の養成において中心的役割を果たしていきます。

修士課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加え、次の目的を持つ人を求 めます。

教育学部・他学部出身者、現職教員、及び外国人留学生

学校教育・人間発達または教科教育に関する諸科学に関心を持ち、理論や専門的知識、実践 的教育方法について学習・研究を行いたいという目的を持つ人

< 入学者選抜の基本方針>

教育学研究科は、本学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、筆記試験、 口述試験、実技試験等の評価を総合して入学者を選抜します。

<学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)> Degree Conferment (Diploma) Policy 修士課程においては、専門領域に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付けるこ とを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位論文の審査及び 最終試験に合格した学生に学位を授与します。

- 1. 幼児児童生徒の探究心を培うために、学びの原動力たる探究の魅力を伝えることの できる教育に関わる理論的・実践的力量
- 2. 学校教育・人間発達または教科教育に関する諸科学について、専門性を深める ことができる研究的力量
- 3. 広い視野に立ち、自己の知識を絶えず振り返り、更新しながら現代の教育及び 社会の諸課題に対応できる社会的力量

By conducting wide-ranging research on education-related sciences, and furthering scientific research on educational practice, we train teachers as highly specialized professionals with a rich sense of humanity; high-level, specialized education; and outstanding capabilities relating to the theory and practice of education. Though these efforts, we play a central role in the development of teachers with

practice of education. Inough these efforts, we play a central role in the development of teachers with a high level of capability in Nara Prefecture and surrounding regions. For master's programs, in addition to knowledge and skills gained throughout the college program and practical classroom experience, the university is looking for students carrying the following goals. ©Craduates of the Faculty of Education or other faculties, working teaching professionals, and foreign students

Students interested in school education and human development, or sciences relating to subject teaching, and who wish to study and research theory, specialized knowledge, and practical teaching

Basic Principles for Admission Selection

Based on the university's Admission Policy, the Graduate School of Education will grant a to students based on the comprehensive evaluation of a written examination, oral examina practical experience, etc.

In the Master's Program, we require students to master the following capabilities by completion of their studies, based on research in a specialized area. A degree is conferred on students who acquire these capabilities, gain the specified units, and pass a review of their degree thesis and a final test.

- Theoretical and practical capabilities relating to education, allowing the student to communicate
 the appeal of inquiry—the driving force of learning—and thereby nurture the inquiring minds of
 preschoolers and school children
- Investigative capabilities allowing the student to achieve further specialization in sciences related to school education, human development, or curriculum and instruction
- Social capabilities allowing the student to respond to problems in modern education and society from a broad perspective, while ceaselessly reflecting on and updating their own knowledge

専門職学位課程 Professional Degree Program

<入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)> Admission Policy

広く教育関係諸科学を研究し、教育実践に関する科学的研究を深めることによって、豊かな人 間性と高度な専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する高度専門職業 人としての教員を養成します。そのことを通して、奈良県および近隣地域における、高度な力

量を持った教員の養成において中心的役割を果たしていきます。 専門職学位課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加え、次の目的を持つ 人を求めます。

学部・大学院出身者

授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育に関心があり、より実践的な専 門性を培い、教職に関する高度な実践力を身につけたいという目的を持つ人 現職教員

学級・学校経営や教育行政、授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育に おける様々な課題を解決するために、より高度な実践力を身に付け、学校や地域において指導 的役割を果たしたいという目的を持つ人

< 入学者選抜の基本方針 >

教育学研究科は、本学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、筆記試験、 口述試験、実技試験等の評価を総合して入学者を選抜します。

<学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)> Degree Conferment (Diploma) Policy 専門職学位課程においては、教育実践に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付 けることを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位研究報告 書の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

- 1. 学校教育における諸課題に対し、俯瞰的な視点を持って組織的に解決できる力量 2. 専門的知見と高度な実践的指導力を生かし、新しい学校づくりの有力な一員と なり得る力量
- 3. 学習指導、生徒指導、特別な支援を必要とする子どもに対する指導を一体化させて個に 応じた指導ができる力量

By conducting wide-ranging research on education-related sciences, and furthering scientific research by conducting where-ranging research on education-related sciences, and untriening scientific research on educational practice, we train teachers as highly specialized professionals with a rich sense of humanity; high-level, specialized education; and outstanding capabilities relating to the theory and practice of education. Though these efforts, we play a central role in the development of teachers with a high level of capability in Nara Prefecture and surrounding regions.

For professional degree programs, in addition to knowledge and skills gained throughout curriculum and practical classroom experience, the university is looking for students with the following goals.

Students interested in developing lesson/learning guidance methods, guiding students, providing educational counsel, and special needs education. Students interested in nurturing their practical expertise and enhancing their practical experience in the teaching profession.

■Current teaching professionals

Students interested in taking on a guiding role in schools or communities through enhanced practical experience in order to solve various problems in class/school management, educational systems, lesson/learning guidance method development, student guidance, educational counsel, and special needs education.

Basic Principles for Admission Selection

Based on the university's Admission Policy, the Graduate School of Education will grant admission to students based on the comprehensive evaluation of a written examination, oral examination, and practical experience, etc.

In the Professional Degree Program, we require students to master the following capabilities by completion of their studies, based on research relating to educational practice. A degree is conferred on students who acquire these capabilities, gain the specified units, and pass a review of their degree research report and a final test.

- 1. The capability to solve issues in an organized manner in school education from an overall
- 2. The capability to be a strong contributor to new school development, by exploiting specialized knowledge and high-level practical instruction skills
- The capability to provide individually tailored instruction by integrating educational guidance, student guidance, and guidance for children requiring special support

■地域教育研究拠点 Regional Education and Research Hub

奈良教育大学の重要な使命、すなわち「有能な教員を養成すること」と「地域の教育の発展・ 向上に寄与すること」、及びその両者の融合を確実に果たすための拠点として、平成 29 年度 に新設しました。地域における教育のニーズや課題を受け入れ、整理し、それに応える方策 を立案して学内の各種委員会や講座等に提案するという、いわば使命を果たすための司令塔

教員養成大学の教員として必要な資質・能力を身に付けるための「奈良教育大学教員のため の研修プログラム」を立案・実行したり、学生に教職の魅力を伝え即戦力となる教育実践力 を培うためのプログラムを開発したりしています。

This research hub was newly established in fiscal year 2017, to ensure we fulfill and integrate the Inis research nub was newly established in Inscal year 2017, to ensure we furfill and integrate the important missions of Nara University of Education: training capable teachers, and contributing to the development/improvement of regional education. The facility acts as a "control tower" for achieving our objectives—that is, it observes and analyzes educational needs and issues in the local region, formulates measures in response, and makes proposals in various committees, courses, and other settings within the university.

is engaged in tasks such as formulating and implementing Training Programs for Nara University of Education Instructors to instill the qualities and capabilities needed as an instructor at a teacher's college, and developing programs to communicate the appeal of the teaching profession to students, and cultivate the practical education skills that allow graduates to be immediately effective as assets in



役員会 Board of Directors

学 長 President

理事(教育担当)

Trustee - Academic Affairs

理事(総務担当)

Trustee - General Affairs

理事(涉外連携·附属学校園担当) Trustee - Partnership Relations and Attached Schools

副学長(教育担当)

resident for Academic Affairs

副学長(企画担当)

副学長(研究担当) Vice-President for Research

副学長(国際交流·地域連携担当) Vice-President for International Relations and Regional Partnership

事務局長

事 務 局 Administration Bureau

▶ 教 務 課

▶ 入 試 課 Entrance Examination Section General Affairs Section

▶ 学生支援課 Student Affairs Section

▶ 教育研究支援課

Educational and Academic Support Section

▶ 監事(業務担当) Auditor - General Affairs

▶ 監事(会計担当) Auditor - Accounting

▶ 企画連携課 Planning and Partnership Section

▶総 務 課

▶財務課 Financial Affairs Section

▶施 設 課 Facilities Planning Section

運営会議 Meeting of Administration

経営協議会

Management Council

教育研究評議会

Council on Education and Research

教授会 Faculty Meeting 学長選考会議

Meeting for Presidential Election

▶ 監 査 室 Audit Office

▶ 研究不正防止推進委員会

Committee for the Prevention of Research Misconduct



✓ 役職員

Executives

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

	12/19/23				令和 3 年 5 月 I 日現任 As of May 1, 2021
***************************************	学長 President	加藤	久雄	Kato Hisao	······
◆ Direct	理事(教育担当)・副学長(教育担当) Trustee - Academic Affairs / Vice-President for Academic Affairs	宮下	俊也	Miyashita Toshiya	
tors	理事(総務担当)・事務局長 Trustee - General Affairs / Director General	渡辺	裕人	Watanabe Hiroto	
◆役員・監事	理事(涉外連携・附属学校園担当) Truslee - Parinership Relations and Attached Schools	浅田	重義	Asada Shigeyoshi	
lor ⊅	監事(業務担当)Auditor - General Affairs	菅	万希子	Suga Makiko	国際ファッション専門職大学 国際ファッション学部 教授 Professor. Faculty of International Fashion, Professional Institute of International Fashion
	監事(会計担当)Auditor - Accounting	淺野	禎彦	Asano Tadahiko	淺野税理士事務所 代表 Representative, Asano Tax Accounting Office
◆参与 Consultant	参与 Consultant	岩井	宏	Iwai Hiroshi	
	副学長(企画担当) Vice-President for Planning	藤井	智康	Fujii Tomoyasu	
<ice th="" □<=""><th>副学長(研究担当) Vice-President for Research</th><th>伊藤</th><th>直治</th><th>Ito Naoharu</th><th></th></ice>	副学長(研究担当) Vice-President for Research	伊藤	直治	Ito Naoharu	
ce-Preside	副学長(国際交流・地域連携担当) Vice-President for International Relations and Regional Partnership	高橋	豪仁	Takahashi Hidesato	
◆副学長等 Vice-Presidents	学長補佐(就職担当) Advisor to the President for Student's Employment	薮	哲郎	Yabu Tetsuro	
ts	学長補佐(教育課程担当) Advisor to the President for Curriculum	赤沢	早人	Akazawa Hayato	
	学長補佐(入試担当) Advisor to the President for Admissions	越野	和之	Koshino Kazuyuki	
	学長補佐(企画担当)Advisor to the President for Planning	和田	穣隆	Wada Yutaka	
	学長補佐(評価担当)Advisor to the President for Evaluations	橋本	昭典	Hashimoto Akinori	
	学長補佐(地域連携担当) Advisor to the President for Regional Partnership	前田	康二	Maeda Koji	
	学長補佐(国際交流担当) Advisor to the President for International Relations	和泉	元 千春	Izumimoto Chiharu	
	学長補佐(特命担当) Advisor to the President for Special Missions	中山	留美子	Nakayama Rumiko	
	学長補佐(特命担当) Advisor to the President for Special Missions	古田	壮宏	Furuta Takehiro	
> ▲	教育研究支援機構長 Director of Educational and Academic Support Organization	伊藤	直治	Ito Naoharu	
◆附置施設等 Affiliated Institutions	図書館長 Director of University Library	伊藤	直治	Ito Naoharu	
filiated Institu	次世代教員養成センター長 Director of Teacher Education Center for the Future Generation	市来	百合子	Ichiki Yuriko	
itutio 等	国際交流留学センター長 Director of Center for Intercultural Exchange and Studies	吉村	雅仁	Yoshimura Masahito	
ns	特別支援教育研究センター長 Director of Center for Special Needs Education	越野	和之	Koshino Kazuyuki	
	理数教育研究センター長 Director of Center for Educational Research of Science and Mathematics	松山	豊樹	Matsuyama Toyoki	
	自然環境教育センター長 Director of Center for Natural Environment Education	石田	正樹	Ishida Masaki	
	保健センター長 Director of Health Care Center	辻井	啓之	Tsujii Hiroyuki	
At ◆	附属学校部長 Chief of Attached Schools	宮下	俊也	Miyashita Toshiya	
◆附属学校	中学校長 Principal of Junior High School	松田	孝史	Matsuda Takashi	
附属学	小学校長 Principal of Elementary School	松本	哲志	Matsumoto tetsuji	
· 校	幼稚園長 Director of Kindergarten	藤村	朱美	Fujimura Akemi	



● 理事 理事 副学	学長 President	加藤	久 雄	Kato Hisao	
	理事(教育担当)Trustee - Academic Affairs	宮下	俊也	Miyashita Toshiya	
	理事(総務担当)Trustee - General Affairs	渡 辺	裕人	Watanabe Hiroto	
ectors	副学長(企画担当) Vice-President for Planning	藤井	智 康	Fujii Tomoyasu	
U)	副学長(研究担当) Vice-President for Research	伊藤	直治	Ito Naoharu	
₩ 🌰		植 野	康夫	Ueno Yasuo	株式会社南都銀行 特別顧問 Special Advisor to The Nanto Bank, Ltd.
.tramı		筒井	寛 昭	Tsutsui Kansho	華厳宗大本山東大寺上院 院主 Abbot of Join Area, Todaiji, Great Head Temple of the Kegon Sect
0 🖹		中川	直子	Nakagawa Naoko	株式会社奈良シティエフエムコミュニケーションズ 代表取締役 President of The Nara City FM Communications Co.,Ltd
ommis		北谷	雅人	Kitatani Masato	奈良市教育委員会 教育長 Superintendent. Board of Education of Nara Municipal Goverment
「理」製「製」 「中でである」 「中でする。 「中でである」 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中でである。 「中ででもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで		吉田	育弘	Yoshida Yasuhiro	奈良県教育委員会 教育長 Superintendent of Nara Prefectural Board of Education
		米川	英 樹	Yonekawa Hideki	宝塚大学 学長 President of Takarazuka University

教育研究評議会評議員 Council on Education and Research

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

学長 President	加藤	久雄	Kato Hisao
理事(教育担当)・附属学校部長 Trustee - Academic Affairs / Chief of Attached Schools	宮下	俊也	Miyashita Toshiya
副学長(企画担当) Vice-President for Planning	藤 井		Fujii Tomoyasu
副学長(研究担当) Vice-President for Research	伊 藤	直治	Ito Naoharu
副学長(国際交流・地域連携担当) Vice-President for International Relations and Regional Partnership	高橋	豪 仁	Takahashi Hidesato
教授 Professor	越 野	和 之	Koshino Kazuyuki
教授 Professor	今	正 秀	Kon Masahide
教授 Professor	宇田	秀士	Uda Hideshi
教授 Professor	吉村	雅仁	Yoshimura Masahito
教授 Professor		貴志	Kasuya Takashi
教授 Professor	和田	穣 隆	Wada Yutaka
教授 Professor	笠次	良爾	Kasanami Ryoji



事務局 Administration Bureau

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

事務局長 Director General	渡 辺	裕人	Watanabe Hiroto
事務局次長・企画連携課長 Vice Director General・Director of Planning and Partnership Section	奥 野	好 幸	Okuno Yoshiyuki
教務課長 Director of Educational Affairs Section	矢 倉	徹	Yakura Toru
入試課長 Director of Entrance Examination Section	宮本	浩	Miyamoto Hiroshi
学生支援課長 Director of Student Affairs Section	阿部	香 織	Abe Kaori
教育研究支援課長 Director of Educational and Academic Support Section	仲井	徹	Nakai Toru
総務課長 Director of General Affairs Section	植田	康 敏	Ueda Yasutoshi
財務課長 Director of Financial Affairs Section	幸田	好 史	Koda Koji
施設課長 Director of Facilities Planning Section	13-3-1	伸一	Fujikawa Shinichi



令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

令和3年5月1日現在 As of May 1														1, 2021					
役職名 Official Title of Teaching Staff	₩E	四本				大学	学教員	Teach	ing Staf	f (Unive	rsity)				事務	職員			
区分	学長・理事 President・ Trustee		教授 Professors		Asso	准教授 Associate Professors		講師 Lecturer		助教 Research Associate		助手 Research Assistant		計 total	技術職員 Administrative Staff		計 Total		
Classification	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	計 Total
学長・理事 Board of Management	3												0	0			3	0	3
事務局 Administration Bureau													0	0	33 (1)	25	33 (1)	25	58 (1)
学校教育講座 School Education			5	1	3	2		1					8	4			8	4	12
国語教育講座 Japanese Language Education			3	1	1								4	1			4	1	5
社会科教育講座 Social Studies Education			4		4								8	0			8	0	8
数学教育講座 Mathematics Education			4		1	1							5	1			5	1	6
理科教育講座 Science Education			11	1	2								13	1			13	1	14
音楽教育講座 Music Education				2	1	1							1	3			1	3	4
美術教育講座 Fine Arts Education			6		2	1							8	1			8	1	9
保健体育講座 Health and Sports Science Education			2		2	2							4	2			4	2	6
技術教育講座 Technology Education			1		2								3	0			3	0	3
家庭科教育講座 Home Economics Education			1	1		2							1	3			1	3	4
英語教育講座 English Language Education			2		1	1							3	1			3	1	4
教育連携講座 Educational Cooperation			3	1	2	1							5	2			5	2	7
教職開発講座 Pedagogical Development			5 (1)	2	2	1							7 (1)	3			7 (1)	3	10 (1)
保健センター Health Care Center			1										1	0		1	1	1	2
小計	3	0	48 (1)	9	23	12	0	1	0	0	0	0	71 (1)	22	33 (1)	26	107 (2)	48	155 (2)
Subtotal	;	3	57	(1)	3	5	1	ı	()	()	93	(1)	59	(1)	1	55 (2	2)

	役職名		附属学校教員 Teaching Staff (School Attached University)														職員					
Official Title of Teaching Staff 区分 Classification	校園長 Principal		教頭 Vice-Principal		主幹教諭 Chief Teachers		教諭 Teachers		養護教諭 Nurse Teachers		栄養教諭 Diet and Nutrition Teachers		小 Sub		技術 Admini	職員 strative aff		計 Total				
		男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	計 Total		
附属中学校	Junior High School	1		1		1		19	7		1			22	8		1	22	9	31		
附属小学校	Elementary School	1		1			1	11	19		1		1	13	22	1	1	14	23	37		
附属幼稚園	Kindergarten		1		1			1	5		1			1	8	1		2	8	10		
/Iv≡±	Cultural	2	1	2	1	1	1	31	31		3		1	36	38	2	2	38	40	78		
小計 Subtotal	3	3	3	3	2	2	6	2	3	3			7	4	4	4		78				

合計 Total	(2)	88	23; (2)	3
-------------	-----	----	------------	---

^() 内は兼務を外数で表す。 特任教員、非常勤教職員は除く。 The numbers in parentheses indicate the personnel who are officially classified to belong to other sections,in addition to the regular figures. They exclude Specially-appointed, part-time faculty.

■ 教育学部 Faculty of Education

令和 3 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2021

課程		専攻・専修・	履修分野	入学定員		事集 人員	収容に		現員 Enrollment	
Departments		Course		上 Enrollment Limit	Rec	、貝 ruitment arget	Admission Capacity	男 Male	女 Female	計 Total
		教育学専修 Pedagogy				15		29	36	65
	教育発達専攻	心理学専修 Psychology				15		21	37 (1)	58 (1)
	Educational Progress	幼年教育専修 Early Childho	od Education			13		1	58	59
		特別支援教育専修 Special	Support Education			12		8	45	53
		国語教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		25	13		18	39	57
		Japanese	中等教育履修分野 Secondary Education		23	12		25	28	53
		社会科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		25	14		39	24	63
		Social Studies	中等教育履修分野 Secondary Education		23	11		30 (1)	20	50 (1)
	数学教育専修	数学教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		26	14		40	19	59
		Mathematics	中等教育履修分野 Secondary Education		20	12		43	12	55
		理科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		29	17		38	27 (1)	65 (1)
学校教育教員 養成課程		Science	中等教育履修分野 Secondary Education	255	29	12	1,020	35	13	48
Department of Teacher Training and School Education	教科教育専攻	音楽教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	18		14	1,020	6	53	59
	Curriculum & Instruction	Music	中等教育履修分野 Secondary Education		10	4		2	16	18
		美術教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		11	7		6	23	29
		Fine Arts	中等教育履修分野 Secondary Education		-	4		2	15	17
		保健体育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		19	11		33	18	51
		Health & Sports Science	中等教育履修分野 Secondary Education		13	8		26	13	39
		家庭科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education		9	5		1	24	25
		Home Economics	中等教育履修分野 Secondary Education			4		2	14	16
		技術教育専修 Technology	中等教育履修分野 Secondary Education			4		21	2	23
		英語教育専修 English	中等教育履修分野 Secondary Education			12		29	24	53
	伝統文化	書道教育専修 Calligraphy				15		3	61	64
	教育専攻 Traditional Culture	文化遺産教育専修 Cultura	l Heritage			7		4	25	29
		255 255 1,020		1,020	462(1)	646 (2)	1108 (3)			
										

()内は外国人留学生数を外数で示す。 The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures.

■ 大学院 Graduate School of Education

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

課程		専攻・専修 Courses	収容 定員		現員 The number of stu	dents
Programs		372 319	Admission Capacity	男 Male	女 Female	計 Total
	人間発達専攻	教育・心理専修 Education & Psychology	18	0	2(1)	2(1)
	Human Development	発達教育臨床専修 Developmental Clinical Education	10	1(1)(1)	7 (5)	8(1)(6)
		国語教育・日本語日本文化教育専修 Japanese Language & Culture		1	2(1)(1)	3(1)(1)
		社会科教育専修 Social Studies		4(2)(1)	1 (4) (1)	5 (6) (2)
妆 奈尚亚 灾 利		数学教育專修 Mathematics		3	1	4
教育学研究科 (修士課程) Master's Program		理科教育専修(文化財科学を含む)Science		5	1	6
(in Education)	教科教育専攻 Curriculum & Instruction	音楽教育專修 Music	72	1	8 (2)	9 (2)
		造形表現(美術・書道)・伝統文化教育専修 Artistic Expression (Art & Calligraphy) & Traditional Cultural Education		4 (2)	4(1)(1)	8 (3) (1)
		保健体育專修 Health & Sports Science		6(1)	2	8(1)
		英語教育専修(異文化理解を含む)English		5	1 (1)	6 (1)
		生活科学教育專修 Sciences of Living		1	0	1
教育学研究科(専門軍 Professional Degree Program		開発専攻	50	23 (1)	17 (8)	40 (9)
		計 Total	140	54 (5) (4)	46 (6) (20)	100 (11) (24)

- () 内は外国人留学生数を外数で示す。 The numbers in parentheses indicate foreign students,in addition to the regular figures.⟨) 内は現職教員数を内数で示す。 The numbers in brackets indicate number of teachers who are currently employed.

■ 科目等履修生・研究生 Nondegree students and Research Students

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

区 分 Classification		現員 The number of students	
☑ 刀 Classification	男 Male	女 Female	計 Total
学部科目等履修生 Nondegree students / Undergraduate	10 (2)	9 (3)	19 (5)
大学院科目等履修生 Nondegree students / Graduate School	0	0	0
学部研究生 Research Student / Undergraduate	0 (4)	0(1)	0 (5)
大学院研究生 Research Student / Graduate School	0	0	0
<u></u> ☐ Total	10 (6)	9 (4)	19 (10)

()内は外国人留学生数を外数で示す。 The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures.

学部科目等履修生には、日本語・日本文化研修留学生、本学大学院在学中の学生を含む。 Figures for Audit Student/Faculty include foreign research students studying Japanese language and culture and graduate school students.

大学院研究生には、教員研修留学生、研究留学生を含む。 Research Student/Graduate School figures include foreign trainee teachers and foreign research students. 特別研究学生は除く。 Excluding non-registered students and special research students.



→ 令和2年度までの卒業・修了者数(累計) Total Number of Alumni and Alumnae

教育学部 Faculty of Education		昭和28年~ 1953~	17,206人
大学院 Graduate School	修士課程 Master's Program	昭和58年~ 1983~	1,959人
入子所 Graduate School	専門職学位課程 Professional Degree Program	平成21年~ 2009~	215人

								令和3年5月	月1日現在	As of May 1, 2021	
就 職 Kinds o	战 先 等 if Employm	ent	課程等 Classification of Course	Faculty of Educatio	教育学部	(参考) 令和2年3月 2020	Master's Program (in Education)	大学院教育学研究科(修士課程)	大学院教育学研究科(専門職学位課程) 大学院教育学研究科(専門職学位課程) (in Education)		
				, ,	%	%	<u>↓</u> 〈2〉	%	人 〈5〉	%	
卒業・1	修了者 	Number of		266			30		17		
			小学校 Elementary Schools	19					〈4〉 7		
		within	中学校 Junior High Schools	11			1 (1)		1 (1)		
	国	奈良県内 within Nara Pref.	高等学校 High Schools	3			1		1		
	公立学	ref.	中等教育学校 Secondary Education Schools								
	国公立学校 National and Public Schools		教育委員会 Board of Education								
	tional a		小学校 Elementary Schools	29							
	nd Publ	奈良	中学校 Junior High Schools	17			〈1〉 5		2		
	ic Schoo	奈良県外 outside Nara Pref.	高等学校 High Schools	7							
教員	S		中等教育学校 Secondary Education Schools								
教員就職者数		特別支	援学校 Special Needs Education Schools	6			1		1		
		幼稚園・	幼保認定こども園 Kindergartens / Certified Centers for Early Childhood Education and Care	5							
School Teachers	¥ /.	小学校	Elementary Schools	1							
eachers	立学	中学校	Junior High Schools								
	私立学校 Private School	高等学	校 High Schools	4							
	/ate Sch	中等教	有学校 Secondary Education Schools								
	00	幼稚園・	幼保認定こども園 Kindergartens / Certified Centers for barly Childhood Education and Care	3							
	大学・	短大・高原	Universities				2				
			/Jへ壽十 Subtotal	105	39.5	38.2	〈2〉 10	33.3	〈5〉 12	70.6	
	期	限付	奈良県内 within NARA Prefecture	26	9.8	11.4	1	3.3	3	17.6	
	Limite	紀用 ed term ntracts	奈良県外 outside NARA Prefecture	34	12.8	12.2	2	6.7	1	5.9	
	教員採 School T	所者 計eachers To	tal	165	62.0	61.8	〈2〉 13	43.3	〈5〉 16	94.1	
			·保育教育士 Nursery Teacher / Nursery Educator	5	1.9	1.6	10		10		
0	教 員 外	企業就	職者 Company Employees	40	15.0	18.1	5	16.7	1	5.9	
thers	教員外就職者数	公務員	等就職者 Public Service Employees	14	5.3	5.5	2	6.7			
	数	小計	Subtotal	59	22.2	25.2	7	23.3	1	5.9	
就職者	合計 日	Employmen	t in Total	224	84.2	87.0	〈2〉 20	66.7	〈5〉 17	100.0	
ס	1.346.04		27	10.2	7.1	1	3.3	17			
ost-Grad	進学者数	大学院	以外 Others	1	0.4						
duates	数		Subtotal	28	10.5	7.1	1	3.3	0	0.0	
未就職	3 HI			14	5.3	5.9	9	30.0			
就職率		yment Rate			94.1	93.6		69.0		100.0	

く 〉内は現職教員数を内数で示す。
The numbers in brackets indicate number of teachers who are currently employed.
未就職者には、教員就職希望者、企業就職希望者、公務員就職希望者、家事手伝い、アルパイト等を含む。
就職率は、卒業又は修了者数から進学者数を除いて算出した率である。
が計れている。
対策のは修了者数から進学者数を除いて算出した率である。
が計れている。
対策のは、中央では、中央である。
は、アルパイト等を含む。
は、アルイト等を含む。
は、アルト等を含む。
は



√ 取得可能な教員免許状・資格

Available Teaching Certificates and Qualifications

取得可能な教員免許状

教育学部【学校教育教員養成課程】

- ▶ 幼稚園教諭一種 ▶ 小学校教諭一種
- ▶ 中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
- ▶ 高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、 工業、家庭、英語、情報、書道)
- ▶ 特別支援学校一種(「知的障害者に関する教育の領域」「肢体不自由者に関する教育 の領域」「病弱者に関する教育の領域」)
- ▶ 養護教諭一種

大学院【修士課程、専門職学位課程】

取得しようとする専修免許状にかかる一種免許状を有する場合、必要な単位 を取得すれば所属専攻・専修に応じた専修免許状の取得が可能です。

取得可能な資格

- ▶ 社会教育主事 ▶ 学校図書館司書教諭
- ▶ 保 育 士 (教育発達専攻 幼年教育専修の学生に限る)
- ▶ 学芸員 ▶ スポーツ指導者
- ▶ 認定心理士 (教育発達専攻 心理学専修の学生に限る)
- ▶ 教育支援人材

教育支援人材 (こどもパートナー・こどもサポーター (学校活動支援)・ こどもサポーター (バルシューレ)・こどもサポーター (ESD)・こどもサポーター (ICT 活用))

▶ 学校心理士申請のための基礎資格

(大学院修士課程 教育・心理専修の学生に限る)



令和2年度卒業・修了者の教員免許取得状況

Undergraduates and Graduates with Teaching Certificates in the 2020 Academic Year

■ 学校種別教員免許状取得状況(教育学部)

	卒業者数 Number of Graduates	免許状取得者数	Elementary Schools	小 学 校	Junior High Schools	中学校	高等学校 High Schools	Special Needs Education Schools	特別支援	Kindergartens	幼 稚 園	Nurse teacher	養護教諭	llin IOtal	
	uates	rtificates	種	三種	種	三種	_ 種	種	重種	種	三種	_ 種	三種	種	三種
学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training and School Education	269	267	185		217		272	55		49		3		781	0
計 Total	269	267	185	0	217	0	272	55	0	49	0	3	0	781	0

■ 学校種別教員免許状取得状況(大学院教育学研究科)

	免許状取得者数 Moders of teaching certificates 修了者数 Number of Graduates		Elementary Schools	小学校	Junior High Schools	中学校	High Schools	高等学校	Special Needs Education Schools	特別支援	Kindergartens	幼稚園	Nurse teacher	養護教諭	llin rotal	+
	uates	ertificates	専修	— 種	専修	— 種	専修	— 種	専修	— 種	専修	— 種	専修	— 種	専修	_ 種
人間発達専攻 Human Development	6	4	1		1		1		2		1				6	0
教科教育専攻 Curriculum and Instruction	25	17	10		14		14				1				39	0
教職開発専攻 Professional Development in Education	18	18	13		11		9		3		3				39	0
計 Total	49	39	24	0	26	0	24	0	5	0	5	0	0	0	84	0

■ 教科別教員免許取得状況(教育学部) Type of teaching certificate based on subjects (Faculty of Education)

	Departmen	学校教育教員養成課程 t of Teacher Training and Scho	el col Education
	中一種	中二種	高一種
国語 Japanese language	40		45
社会 Social Studies	25		_
地理歴史 Geography & History	-	-	22
公民 Civics	_	-	22
数学 Mathematics	28		28
理科 Science	31		31
音楽 Music	17		16
美術 Fine Arts	14		13
書道 Calligraphy	_	_	18
保健体育 Health & Physical Education	22		22
技術 Technology	5		_
工業 Industry	-	-	3
家庭 Home Economics	11		11
情報 Information Studies	_	_	17
英語 English	24		24
計 Total	217	0	272

■ 教科別教員免許取得状況(大学院教育学研究科) Type of teaching certificate based on subjects (Graduate school of Education)

		人間発 Human D	達専攻evelopmer	nt	C	教科教	有専攻 & Instructi	on	Pro	教職開 fessional [Educ	発専攻 Developme cation	ent in
	中専修	中一種	高専修	高一種	中専修	中一種	高専修	高一種	中専修	中一種	高専修	高一種
国語 Japanese language					3		3					
社会 Social Studies			_	_	3		_	_	5		_	_
地理歴史 Geography & History	_	_			_	_	2		_	_	2	
公民 Civics	_	_			_	_			_	_	1	
数学 Mathematics	1		1						5		5	
理科 Science												
音楽 Music					4		4					
美術 Fine Arts					1		1		1		1	
書道 Calligraphy	_	_			_	-	1		_	_		
保健体育 Health & Physical Education					2		2					
保健 Health												
技術 Technology			_	_			_	_			_	_
工業 Industry	_	_			_	_			_	_		
家庭 Home Economics												
情報 Information Studies	_	-			-	_			_	_		
英語 English					1		1					
工芸 Crafts	_	_			_	-			_	_		
計 Total	1	0	1	0	14	0	14	0	11	0	9	0

→ 令和3年度入学状況 The Number of Newly-Enrolled Students 2021

■ 教育学部 Faculty of Education

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

Depar	By Page Page Page Page Page Page Page Page		入学定員	Nur	志願者数 nber of Applic		Number o	合格者数 f Successful	Applicants	Number of	入学者数 Newly-Enroll		
tments	教 教育学専修 Pedagogy				男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
	数	教育学専修 Pedago	ogy	15	19 (2)	46 (1)	65 (3)	6	10	16	6	10	16
	育発達専 Educational Progress	心理学専修 Psycho	logy	15	29 (1)	69 (2)	98 (3)	4	13	17	4	9	13
	ess ess	幼年教育専修 Earl		13	2 (1)	61	63 (1)	0	15	15	0	14	14
	攻	攻 特別支援教育專修 Special Support Education 初等教育履修分野 国語教育專修 Elementary School Education		12	17	41 (1)	58 (1)	1	12	13	1	12	13
				13	12	39	51	5	9	14	5	9	14
		Japanese	中等教育履修分野 Secondary Education	12	18	23	41	6	7	13	6	7	13
学		初等教育履修分野 社会科教育専修 Elementary School Education		14	39	18	57	11	4	15	11	4	15
校教		Social Studies	中等教育履修分野 Secondary Education	11	50 (1)	16	66 (1)	5 (1)	6	11 (1)	5 (1)	6	11 (1)
学校教育教員養成課程	対			14	41	21	62	12	3	15	12	3	15
員 養 む	数	Mathematics	中等教育履修分野 Secondary Education	12	60	14	74	9	4	13	9	4	13
課 程	教科教育専	理科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	17	38	31	69	9	8	17	9	7	16
	育専	Science	中等教育履修分野 Secondary Education	12	41	25	66	9	4	13	8	4	12
Department of	攻。	音楽教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	14	6	68	74	2	12	14	2	12	14
nt of Te	urricult	音楽教育専修 Music	中等教育履修分野 Secondary Education	4	3	17	20	1	3	4	1	3	4
acher T	ım & In	美術教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	7	3	17	20	0	7	7	0	7	7
raining	Curriculum & Instruction	Fine Arts	中等教育履修分野 Secondary Education	4	2	17	19	0	4	4	0	4	4
and So	5	保健体育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	11	34	21	55	10	3	13	10	2	12
chool E		Health & Sports Science	中等教育履修分野 Secondary Education	8	40	15	55	7	3	10	7	3	10
Teacher Training and School Education		家庭科教育専修	初等教育履修分野 Elementary School Education	5	1	21	22	0	6	6	0	6	6
ā		Home Economics	中等教育履修分野 Secondary Education	4	1	11	12	0	5	5	0	5	5
		技術教育専修 Technology	中等教育履修分野 Secondary Education	4	30	4	34	7	0	7	6	0	6
		英語教育専修 English	中等教育履修分野 Secondary Education	12	30	44 (1)	74 (1)	8	5	13	7	5	12
	伝統文化	書道教育専修 Call	igraphy	15	6	50	56	1	17	18	1	14	15
	Tr伝統 a統文 a 書道教育專修 Calligraphy a 書道教育專修 Calligraphy to a loop		7	12	28	40	1	7	8	1	7	8	
	×*+1.1.4.4.	計 Tota	、入学者数には第2志望を:	255	534 (5)	717 (4) (1)	1,251 (9) (1)	114 (1)	167	281 (1)	111 (1)	157	268 (1)

志願者数は第1志望のみ、合格者数、入学者数には第2志望を含む。

- ()内は外国人留学生数を外数で示す。 〈 〉内は帰国生徒数を外数で示す。

The numbers of applicants and test-takers includes only the first choice, and the numbers of successful applicants and newly-enrolled students includes the second choice. The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures. The numbers in brackets indicate the number of returnee applicants for the special entrance examinations.

■出身高校都道府県別入学者数

Entrants listed according to high-schools and prefectures of origin.





■ 大学院 Graduate School of Education

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

課程	専攻・専修	入学定員	Nur	志願者数	ants	Number	合格者数 of Successful A	Applicants	Number of	入学者数 Newly-Enrolle	ed students
Programs	Major	Enrollment Limit	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total
	人間発達専攻 Human Development		1 (1)	3 (1) 〈2〉	4 (1) 〈3〉	1 (1)	3 〈2〉	4 ⟨3⟩	1 (1)	3 〈2〉	4 〈3〉
	教育・心理専修 Education & Psychology	9									
教育	発達教育臨床専修 Developmental Clinical Education		1 (1)	3 (1) 〈2〉	4 (1) 〈3〉	1 (1)	3 (2)	4 (3)	1 (1)	3 〈2〉	4 (3)
教育学研究科	教科教育専攻 Curriculum & Instruction		15 (5) 〈1〉	9 (6) 〈2〉	24 (11) 〈3〉	13 (4) 〈1〉	6 (4) 〈2〉	19 (8) 〈3〉	12 (2) 〈1〉	6 (4) 〈2〉	18 (6) 〈3〉
	国語教育・日本語日本文化教育専修 Japanese Language & Culture		1	(2)	(2)	1	(1)	(1)	1	(1)	1 (1)
(修士課程)	社会科教育専修 Social Studies		2 (2) 〈1〉	(2) (1)	3 (4) 〈2〉	2 (2) 〈1〉	(2) (1)	3 (4) 〈2〉	2 (1) 〈1〉	1 (2) 〈1〉	3 (3) 〈2〉
	数学教育専修 Mathematics		2		2	1		1	1		1
Master'	理科教育専修(文化財科学を含む) Science	26	3	1	4	2	1	3	2	1	3
s Progra	音楽教育専修 Music	36	(1)	3 (1)	(2)	1	2	3	1	2	3
Master's Program (in Education)	造形表現(美術·書道)·伝統文化教育専修 Artistic Expression (Art & Calligraphy) & Traditional Cultural Education		2 (1)	1 (1)	(2)	2 (1)	1 (1)	(2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)
ucation)	保健体育専修 Health & Sports Science		(1)		(1)	(1)		(1)	1		1
	英語教育専修(異文化理解を含む) English		3	1 (1)	4 〈1〉	3	1 (1)	4 〈1〉	2	1 〈1〉	3 〈1〉
	生活科学教育専修 Sciences of Living										
	教育学研究科(専門職学位課程)教職開発専攻 Professional Degree Program (in Education)		15	12 〈4〉	27 〈4〉	12	10 〈4〉	22 〈4〉	12	9 (4)	21 〈4〉
	計 Total	70	31 (5) 〈2〉	24 (7) 〈8〉	55 (12) (10)	26 (4) 〈2〉	19 (4) 〈8〉	45 (8) 〈10〉	25 (2) 〈2〉	18 (4) 〈8〉	43 (6) 〈10〉

() 内は外国人留学生数を外数で示す。〉 内は現職教員数を内数で示す。The numbers in parentheses indicate foreign students, in addition to the regular figures. The numbers in brackets indicate the number of teachers who are currently employed.



■ 奨学生 Scholarship Students

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

区分	Classification		Fa	学 部 aculty of Education	on		Gradu	ucation	計	
区分	Classification	1年次 1st. year	2年次 ^{2nd.} year	3年次 3rd. year	4年次 4th. year	計 Total	1年次 1st. year	2年次 2nd. year	計 Total	Total
	給付 Grant	26	38	35	42	141	_	_	_	141
日本学生支援機構 Japanese Student Services Organization (JASSO)	無利子(第1種) Interest-Free Loan	28	46	72	65	211	5	7	12	223
	有利子(第2種) Low-Interest Loan	25	55	35	31	146	2	2	4	150
その他	その他 Others		1	7	3	11	0	1	1	12
計	計 Total		140	149	141	509	7	10	17	526



■ 交流状況 Academic Exchange and Cooperation

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

区分	Classification	年度 Year	令和2年度 2020	令和元年度 2019	平成30年度 2018	平成29年度	平成28年度
	 ロックヘイブン大学	受入 Students studying from abroad					3
	Lock Haven University	派遣 N.U.E. students studying abroad		1	2		2
	セントラルミシガン大学	受入 Students studying from abroad		4	1	3	3
	Central Michigan University	派遣 N.U.E. students studying abroad		1	2	1	2
	ハイデルベルク大学	受入 Students studying from abroad		1	2	1	2
	Heidelberg University	派遣 N.U.E. students studying abroad		1		1	1
Inte	嶺南大学校 Yeungnam University	受入 Students studying from abroad			1		1
交流状况 International Exchange		派遣 N.U.E. students studying abroad					
北 形 形 記	ブカレスト大学 University of Bucharest	受入 Students studying from abroad	1	2	3	4	1
inge		派遣 N.U.E. students studying abroad					
	リヨン第三大学 Jean Moulin - Lyon 3 University	受入 Students studying from abroad		2	2	2	1
		派遣 N.U.E. students studying abroad				2	
	西安外国語大学	受入 Students studying from abroad	2	5	6	4	2
	Xi'an International Studies University	派遣 N.U.E. students studying abroad					
	華東師範大学	受入 Students studying from abroad		1	2	2	2
	East China Normal University	派遣 N.U.E. students studying abroad					
	受入 Students studying from abroad			15	17	16	15
	計 Total	派遣 N.U.E. students studying abroad	0	3	4	4	5

■ 外国人留学生 Foreign Students Studying at N.U.E.

令和 3 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2021

区分 Classification	国籍 Nationality	韓国 Korea	中国 China	インド India	インドネシア Indonesia	ルーマニア Romania	elia Total
Japar Scho	研究留学生 Research Students						0
画費留 nese Goo plarship!	教員研修留学生 Teacher Training Students						0
国費留学生 Japanese Government Scholarship Program	日本語·日本文化 研修留学生 Japanese Studies Students	1		1	1	1	4
(0)	学部学生 Faculty of Education		3				3
Studying	大学院学生 Graduate School of Education		11				11
私費留学	学部研究生 Research Students / Faculty of Education		5				5
私費留学生	大学院研究生 Research Students / Graduate School of Education		_				0
· ·	特別聴講学生 Exchange students		2				2
	計 Total	1	21	1	1	1	25

■ 国際交流協定 International Academic Exchange Agreement

<u></u> ■ Countries	大 学 名 Universities	締 結 Date of Agreements
アメリカ	ロックヘイブン大学	昭和 61 年 7月 11日
U.S.A.	Lock Haven University	Jul. 11, 1986
ドイツ	ハイデルベルク大学	平成 5年 4月 1日
Germany	Heidelberg University	Apr. 1, 1993
アメリカ	セントラルミシガン大学	平成 8年 7月 30日
U.S.A.	Central Michigan University	Jul. 30, 1996
韓国	嶺南大学校	平成 11 年 2月 8日
Korea	Yeungnam University	Feb. 8, 1999
ルーマニア	ブカレスト大学	平成 11 年 3月 9日
Rumania	University of Bucharest	Mar. 9, 1999
フランス	リヨン第三大学	平成 16 年 3月 3日
France	Jean Moulin - Lyon 3 University	Mar. 3, 2004
中国	西安外国語大学	平成 17 年 6月 30日
China	Xi'an International Studies University	Jun. 30, 2005
インドネシア	インドネシア教育大学	平成 17 年 12月 5日
Indonesia	Indonesia University of Education	Dec. 5, 2005
中国	華東師範大学	平成 21 年 7月 27日
China	East China Normal University	Jul.27, 2009
韓国	公州大学校	平成 21 年 8月 24日
Korea	Kongju National University	Aug.24, 2009
韓国	光州教育大学校	平成 22 年 6月 15日
Korea	Gwangju National University of Education	Jun.15, 2010
中国	香港教育大学	平成 28 年 3月 25日
China	The Educaion University of Hong Kong	Mar.25, 2016



イ ユネスコスクール The UNESCO Associated Schools Project Network (ASPnet)

https://www.nara-edu.ac.jp/unesco/



2007年7月、本学は日本の大学 として初めてユネスコスクール に加盟しました。ユネスコスクー ルは、ユネスコが推し進めてい る理念を学校現場で実践するこ とを目的としています。具体的 内容として、ユネスコスクールの

ネットワークを利用して世界中の学校と生徒間・教師間で交流し、情報 や体験を分かち合ったり、地球規模の諸問題に若者が対処できるよう な新しい教育内容やその手法の開発、発展を目指します。

文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをE SDの推進拠点と位置付けており、本学では、大学の3つの柱に「持続 可能な社会づくりに貢献できる教員の養成」を掲げ、ESDの普及・推 進に取り組んでいます。その一つが現代の教育的課題に対応するプ ロジェクトである「ESDを核とした教員養成の高度化」です。 ESDに 関する授業科目の単位取得とESD演習・実践を組み合わせ、さらに 現職教員と協働してESDの授業を作成するという、実践型のESD ティーチャープログラムを開発し、展開しています。

In July 2007, our university became the first UNESCO Associated School of Japanese Universities.

UNESCO Associated Schools aim to promote UNESCO values, facilitate cultural exchange networks among schools, teachers and individual students, share information, and develop new educational methods and systems which will enable young people to deal with important issues on a global level.

At the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and the Japanese National Commission for UNESCO, UNESCO Associated Schools are positioned as hubs for promoting ESD, and at our university, we are working to disseminate and promote ESD by advocating "development of teachers who can contribute to creation of a sustainable society" in the three pillars of our university. One element of this is "raising the level of teacher development with ESD at the core," a project for addressing contemporary educational issues. We are developing and deploying a practice-oriented ESD-related teacher training program in which acquisition of credits in ESD-related subjects is combined with ESD exercises and practice, and ESD classes are created in collaboration with currently working teaching professionals.



■ 令和 3 年度 ならやまオープンセミナー (公開講座) Narayama Extention Courses 2021

講座名	開催日・期間	内容	対象	場所
ピアノを弾こう!	8月19日 (木) 8月23日 (月)	これまでにピアノ演奏法を学び、現在は社会人として 仕事をしながらも、ピアノ演奏法を学び続けたいと希 望する方を対象にします。	一般の方	本学 音楽棟 第 1 アンサンブル室

上記は本概要発行時の情報です。最新の情報や詳しい内容については、下記ホームページでご確認ください。 https://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/

■ 令和3年度 フレンドシップ事業 2021 Friendship Project

教員の養成段階において、本学学生が様々な体験活動を通して、子どもたちとふれあい、子どもたちの気持ちや行動を理解し、実践的指導力の基礎を 身につけることを目的とした事業です。

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
木製おもちゃを作ろう	未定	材料を加工し、組み立てることによってものを作ることができることを体験します。 材料は加工しやすい木材をベースにして、活動後に楽しむことができるパズルと楽器のおもちゃを作ります。	小学生(4~6年生) 25名	本学
キッズ・サウンドラボ・ アートプロジェクト	未定	音楽科としてのプログラミング教育実現に向け、プログラミングの基礎教育にも繋がる、シンセサイザーキットを用いた活動を行います。	奈良女子大学附属小学校 児童	奈良女子大学附 属小学校

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止または内容変更の可能性があります。各企画の実施詳細は、本学ホームページに随時掲載されます。 https://www.nara-edu.ac.jp/general/friendship_index.html

■ オープン・クラス Open Classes

オープン・クラスは、大学の授業を一般の方に公開し、学生とともに受講していただくものです。 これは、本学が行う大学開放事業の一環で、本学教育学部で開設している授業の一部を公開し、大学を生涯学習の場として活用するという社会的要請 に応えるとともに、地域社会と大学との連携を深めようとするものです。

https://www.nara-edu.ac.jp/graduate/open_class/



令和3年度学生企画活動支援事業

Student Activities Support Project 2021

本学学生が自ら企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会 性を高め、もって優れた教員として、又、社会人として成長することを目的としています。

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
作ってハッピー☆造形ひろば	令和3年 4月~11月	「ものづくり」を通して交流することができる場を提供する。	地域の児童・生徒・ 保護者	本学
大学生と遊ぼう! 奈良教育大学硬式野球部野球遊び教室	令和3年 7、8月	奈良教育大学硬式野球部部員による、小学 生を対象にした野球遊び教室を開催する。	地域の小学生	本学
音楽ふれあいコンサート 〜音楽で元気になろう!〜	令和3年6月~ 令和4年3月	地域の幼稚園・保育園・小学校及び福祉施設に訪問し、各施設にあった楽曲を選曲し 演奏する。	地域の方、幼児等	地域の幼稚園・ 保育園・小学校及び 福祉施設
手話(聴覚障害者の言語)を学ぶ	令和3年10月~ 令和4年2月	聴覚障害者を講師に招き、手話を学び、聴 覚障害者の学習上生活上の困難を理解す るとともに、手話をはじめとするコミュニ ケーションの多様性や障害理解の普及に 努める。	本学学生	本学
ESD-SDGs実践勉強会 〜古都奈良からみらいへ〜	令和3年6月~ 令和4年3月	本学学生へのESD・SDGsのさらなる普及、本学学生の防災意識の向上を目的として、防災に関する事項及びSDGsに関する基礎知識を実践的・体験的に学ぶ勉強会を実施する。	本学学生	本学・人と防災未来センター
学生オペラ 2022 「パーティへの招待状〜あなたの目前に 広がる世界は…〜」	令和3年3月~ 令和4年2月	演目 ヨハン・シュトラウス 世作曲 『こうもり』	一般の方、本学学生	本学
安全企画委員会 防災プロジェクト	令和3年4月~ 令和3年11月	本学の全学生が防災に関する知識や技術を学ぶことができるように、いつでも視聴できる防災に関する動画を作成し、公開する。 さらにその動画をテーマにした少人数の研修会を実施する。	本学学生	本学

今後の新型コロナウイルス感染拡大等の状況次第では、受付済・未受付にかかわらず、講座を中止する可能性があります。



教育研究に係る連携協定 Education and Research Agreements

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

	(±1.1	=
協定先	締結年月日	主な目的等
奈良県	平成 21年 12月 10日	「地域の教育力」を再生する方策に関する調査・研究
奈良県くらし創造部	平成 21年10月 5日	「地域の教育力」モデル地域調査事業
	平成 12年 7月 18日	実践総合センターと県立教育研究所との、いじめ、不登校問題等教育諸課題への取組に係る連携
奈良県教育委員会	平成 16年 3月 17日	県立青翔高校との実践的共同研究と県理数科教育の充実、科学者、技術者の養成
	令和 3年 3月 1日	連携協力に係る包括協定
奈良県へき地教育振興協議会、奈良県教育委員会	平成 30年 3月 27日	奈良教育大学、奈良県へき地教育振興協議会及び奈良県教育委員会の連携協力に関する協定書
奈良県立大学附属高等学校及び公立大学法人奈良県立大学	令和 2年 3月 27日	国立大学法人奈良教育大学、奈良県立大学附属高等学校及び公立大学法人奈良県立大学の教育連携に関する協定書
奈良県立平城高等学校	平成 19年 1月 18日	教育連携協定書
奈良県立高田高等学校	平成 23年 4月 6日	教育連携協定書
奈良県立山辺高等学校	平成 26年 4月 1日	理数プロジェクト高大地域連携事業に関する協定書
奈良県立青翔中学校・高等学校	平成 26年 4月 1日	理数プロジェクト中高大地域連携事業に関する協定書
奈良市	平成 16年 6月 11日	教育連携に係る包括協定
XXIII	平成 19年 6月 19日	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
	平成 16年 6月 11日	幼稚園・小学校・中学校への学校教育活動支援事業(スクールサポート)と相互の教育支援・充実
奈良市教育委員会	平成 18年 7月 18日	「先導理数プログラム」推進事業
	平成 18年 9月 20日	包括協定事項追加(教員養成GP「鍵的場面」)
	平成 18年 4月 1日	学科指導教室「ASU」への学生(学習チューター)派遣と相互の教育支援・拡充
大和郡山市	平成 18年 6月 15日	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
	平成 24年 4月 1日	教育連携に係る包括協定
天理市	平成 19年 6月 11日	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
生駒市	平成 19年 6月 11日	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力
五條市	平成 28年 9月 2日	五條市と奈良教育大学との包括連携協力に関する協定
橿原市	令和 3年 3月 24日	橿原市と奈良教育大学との包括的連携協力に関する協定書
曽爾村	平成 24年 4月 1日	教育連携に係る包括協定
平群町	平成 26年 9月 25日	教育連携に係る包括協定
山添村	平成 28年 1月 18日	包括連携協力に関する協定
	平成 17年 4月 1日	小中学校への学生派遣による支援、学生の資質向上と実践的指導力の育成
京都府教育委員会	平成 19年 8月 13日	教員を目指す学生等の資質向上と実践的指導力の育成
	平成 17年12月 28日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
京都市教育委員会	平成 25年 7月 1日	連携協力に関する協定書
堺市教育委員会	平成 20年 5月 28日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
羽曳野市教育委員会	平成 20年 5月 28日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
茨木市教育委員会	平成 18年 4月 1日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
柏原市教育委員会	平成 18年 6月 1日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
	平成 18年 4月 1日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
八尾市教育委員会	平成 29年 4月 1日	八尾市教育委員会と奈良教育大学の連携協力に関する協定
神戸市教育委員会	平成 22年 4月 1日	「スクールサポーター制度」実施に係る協定書
千早赤阪村教育委員会	平成 18年 6月 1日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
東大阪市教育委員会	平成 21年 5月 27日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
交野市教育委員会	平成 21年 5月 27日	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
陸前高田市教育委員会	平成 27年12月 16日	連携協力に関する協定書
奈良女子大学	平成 27年 3月 26日	教員養成の高度化に関する連携協定書
帝塚山大学	平成 27年 3月 26日	教員養成の高度化に関する連携協定書
天理大学	平成 27年 3月 26日	教員養成の高度化に関する連携協定書
奈良大学	平成 27年 3月 26日	教員養成の高度化に関する連携協定書
大和大学	平成 30年 2月 6日	教員養成の高度化に関する連携協定書
奈良学園大学	平成 30年 10月 1日	教員養成の高度化に関する連携協定書
奈良工業高等専門学校	平成 20年 6月 18日	教育研究等の協力協定
京都大原学院(小中一貫校)	平成 26年 9月 1日	教育連携協定書
高エネルギー加速器研究機構	平成 24年 6月 6日	教育研究等の協力協定



✓ 単位互換に係る連携協定 Credit Exchange

協定先	協定締結年月日	主な目的等
放送大学	平成 14年 3月13日	学部単位互換
帝塚山大学、天理大学、奈良大学、奈良県立大学 奈良県立医科大学、奈良学園大学、奈良女子大学	平成 20年 3月10日	奈良県内大学間での学部単位互換
京都教育大学、大阪教育大学	平成 25年 3月21日	京阪奈三教育大学学部単位互換
奈良女子大学	令和 2年 4月 1日	大学院単位互換
滋賀大学、京都教育大学、大阪教育大学、和歌山大学	平成 8年 1月30日	大学院単位互換



地域連携 Local Collaboration

■ 令和3年度学校図書館司書教諭講習

この講習は、学校図書館法(昭和28年法律第185号)第5条第3項の規定に基づき、 学校図書館の専門的職務に携わる司書教諭を育成するため、文部科学大臣の委託を受けて実施する講習です。

令和3年度学校図書館司書教諭講習は書類申請のみの受付とします。詳細はHPをご覧下さい。 https://www.nara-edu.ac.jp/students/books.html

■ 令和3年度教員免許状更新講習

平成19年6月に教育職員免許法が改正され、平成21年度から教員免許更新制が導入されました。 本学では、奈良県内の大学・短期大学・その他の機関と連携して、教員のニーズに応じた多様な講習を実施します。

【実施日程】

令和3年度教員免許状更新講習はインターネット講習により実施します。詳細はHPをご覧下さい。 https://www.nara-edu.ac.jp/graduate/license.html



✓ 広報誌・刊行物紹介

Pamphlets and Publications



奈良教育大学概要 Nara University of Education Campus Guide



ならやま

本学の教育実践、研究内容 学生の活動状況等を受験生や その保護者等に紹介するための 広報誌

This bulletin provides information to students preparing for enrollment exams, their parents and guardians, and other interested parties, about information such as our university's educational practices, research, and student activities.



受験生のための 大学案内 Campus Guide to those applicants for our university



奈良教育大学紀要 Bulletin of Nara University of Education



(千円) unit: thousand yen

区 分 Classification	令和2年度 Fiscal Year 2020	令和元年度 Fiscal Year 2019	平成30年度 Fiscal Year 2018	平成29年度 Fiscal Year 2017	平成28年度 Fiscal Year 2016
受入件数 Number of Acceptance	148	68	60	76	76
受入額 Received Amount of Money	42,975	23,003	31,014	34,677	29,740



科学研究費補助金獲得状況 Acceptance of Application For Grant-in-Aid for Scientific Research

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

(千円) unit: thousand yen

研究種目	令和3 Fiscal Ye	3年度 ear 2021	令和2 Fiscal Ye		令和元年度 Fiscal Year 2019		平成30年度 Fiscal Year 2018		平成29年度 Fiscal Year 2017	
WI 九 怪 日 Classification	件数 Number of Acceptance	金額 Amount of Money								
新学術領域研究(研究領域提案型) Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas and Grant-in-Aid for Special Purposes					1	13,100 (3,930)	1	13,400 (4,020)	1	18,100 (5,430)
基盤研究(A) Grant-in-Aid for Scientific Research (A)									1	4,200 (1,260)
基盤研究(B) Grant-in-Aid for Scientific Research (B)	4	9,300 (2,790)	4	9,900 (2,970)	4	12,600 (3,780)	3	7,700 (2,310)	2	6,300 (1,890)
基盤研究(C) Grant-in-Aid for Scientific Research (C)	24	17,400 (5,220)	22	15,900 (4,770)	26	24,800 (7,440)	24	19,500 (5,850)	27	24,000 (7,200)
挑戦的萌芽研究 Grant-in-Aid for challenging Exploratory Research	1	1,700 (510)	1	1,500 (450)	1	1,600 (480)	1	900 (270)	1	900 (270)
若手研究 Grant-in-Aid for Young Scientists			8	6,400 (1,920)	3	2,100 (630)	1	2,000 (600)	-	-
若手研究(B) Grant-in-Aid for Young Scientists (B)	6	4,100 (1,230)	1	700 (210)	3	2,100 (630)	5	2,800 (840)	7	5,000 (1,500)
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity start-up			1	1,000 (300)	1	1,100 (330)	1	900 (270)	2	1,800 (540)
研究成果公開促進費 Grant-in-Aid for Publication Scientific Research Results					1	1,700			1	1,300
計 Total	35	32,500 (9,750)	37	35,400 (10,620)	40	59,100 (17,220)	36	47,200 (14,160)	42	61,600 (18,090)

^()内は間接経費を外数で示す。 The amount in parentheses indicate the indirect Grant-in-Aid, in addition to the regular figures.



機能強化経費採択状況

Acceptance of Functional Enhancement Fund

文部科学省は、第3期中期目標期間(平成28~33年度)において、国立大学の機能強化の方向性に応じた3つの枠組み(本学は「①地域貢献」を選択)により重点支援を行うこととされた。(27年度までの「特別経費」の枠組みは「機能強化経費」に変更となり、各法人が策定した戦略毎に支援する。)

	区分	事業名称	採択年度	事業(計画)期間
	プロジェクト	教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働により、教員養成・研修機能を強化する。	平成 28 年度	6年
機能		現代の教育的課題に対応するプロジェクトを組織し、その研究成果を発信・展開する。	平成 28 年度	6年
機能強化促進分	プロジェクト	ESD (持続可能な開発のための教育)を核とした教員養成・研修の高度化 - 次世代の教員に求められる資質・能力の向上を目的に - 【基幹経費化】		(6年)※
(近) 推	プロシェクト	理数教育再創生のための教員養成および研修機能の拡充 【基幹経費化】		(6年) ※
分		学校教育体系全体を視野に入れたインクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮・ ユニバーサルデザイン教育の開発		(6年) ※

^{※()}内は取組予定期間 The figure in parentheses Indicates Scheduled Period of Actions

特別教育研究経費採択状況 Acceptance of Special Education and Research Funds

区分	事業名称	採択年度	事業(計画)期間
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	ESDを核とした教員養成の高度化	平成 27 年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	地域融合で築く理数教育研究拠点における実践的高度教員養成プログラムの開発	平成 26 年度	4年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	地域連携に基づく特別支援教育人材養成モデル推進事業 — ICT 活用による人財と教材のネットワークの構築	平成 25 年度	3年
幅広い職業人の養成や 教養教育機能の充実	「学ぶ喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成に向けた持続可能な発展のための 教育活性化プロジェクト	平成 25 年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	京阪奈三教育大学教育連携推進事業 - 遠隔授業を取り入れた教育課程の共同実施の構築に向けて	平成 24 年度	3年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	教員養成機能の充実	平成 24 年度	1年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	実践的高度理数科教員養成のための大学院教育プログラムの開発	平成 23 年度	3年
高度な専門職業人の養成や 専門教育機能の充実	先端的な教職科目体系のモデル開発 〜カリキュラム・フレームワーク(Cuffet)の構造的深化・高度化による学びの組織化〜	平成 22 年度	3年
地域貢献機能の充実	地域全体でライフサイクルのニーズに応じる特別支援教育モデル推進事業 ~教育委員会等との連携による大学のセンター機能の強化と人材育成~	平成 22 年度	3年



令和3年度 収入・支出予定額 Revenue and Expenditure in Fiscal Year 2021 (百万円) unit: million yen

(百万円) unit: million yen

	/J J) dilit . Illillion yen
収 入 Income	
事 項 Items	金額 Amount of Money
運営費交付金 Subsidy of Administrative Cost	2,406
大学改革支援·学位授与機構施設費交付金 Bonus for University Reform and Facility Expenses of National Institutions for Academic Degrees	0
自己収入 University Income	834
授業料及入学金検定料収入 Tuition and Examination Fee	779
雑収入 Miscellaneous Income	55
施設整備費補助金 Supplies and Equipment Expense Subsidy	0
産学連携等研究収入及び寄付金収入等 Support for Cooperative Research with Private Industry	67
計 Total	3,307

``	/J J/ Gime: immorr you
支 出 Disbursement	
事 項 _{Items}	金額 Amount of Money
人件費 Personnel Expenses	2,642
物件費 Non-Personnel Expenses	833
施設整備費 Supplies and Equipment Expenses	0
産学連携等研究経費及び寄付金事業費等 Support for Cooperative Research with Private Industry	67
計 Total	3,542



土地·建物 Land and Buildings

令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

区 分 Classification	土 地 Land	建 物 Buildings		
本部及び教育学部 Headquarters and Faculty of Education	147,060	33,991		
附属中学校 University Attached Junior High School	30,079	5,787		
附属小学校 University Attached Elementary School	本部及び教育学部に含む Included in Headquarters and Faculty of Education	8,880 (特別支援学級1,574㎡を含む) Including 1,574㎡ for the Classes for Handicapped Children		
附属幼稚園 University Attached Kindergarten	本部及び教育学部に含む Included in Headquarters and Faculty of Education	1,013		
自然環境教育センター Center for Natural Environment Education	1,617,596	1,185		
奈良実習園 University Farm in Nara	11,034	573		
奥吉野実習林 University Forest in Okuyoshino	1,606,562	612		
国際学生宿舎 International Student House	4,621	2,326		
橘宿舎 TACHIBANA Dormitory	2,013	1,686		
教職員宿舎 Housing for staff	7,705	3,972		
計 Total	1,809,074	58,840		



施設の整備状況 Upkeep of Facilities

年度	完成年月	建物名称	構造階数	延べ床面積等	備考
	令和2年 8月	附属小学校A棟	_	_	照明器具改修
	令和2年 9月	附属中学校体育器具庫	_	21 m²	トイレ改修
	令和2年 10月	附属中学校グラウンド	_	5,590 m²	グラウンド整備
	令和2年 12月	附属中学校プール附属室	_	37 m²	更衣室・トイレ改修
	令和3年 1月	音楽棟	_	_	受変電設備更新
令和2年度	令和3年 2月	技術棟	R 2	462 m	内外装改修
	令和3年 3月	附属小学校B棟	_	75 m²	トイレ改修
	令和3年 3月	附属小学校プール附属室	_	26 m²	更衣室・トイレ改修
	令和3年 3月	プール	_	_	防水改修
	令和3年 3月	受水槽	_	_	改修
	令和3年 3月	附属中学校B棟	_	_	換気設備新設
	令和元年 8月	附属小学校A棟	_	_	照明器具改修
	令和元年 8月	附属幼稚園A棟	_	18 m²	便所改修
	令和元年 9月	学生会館	_	_	高圧ケーブル更新
	令和元年 10月	音楽棟A棟	_	_	空調熱源設備更新
令和元年度	令和元年 12月	大学プール	_	_	ろ過水配管更新
〒 和 九 千 及	令和2年 2月	附属中学校テニスコート	_	1,213 m ²	不陸整生他
	令和2年 3月	新館 1 号棟	R3	1,320 m²	内外装改修
	令和2年 3月	音楽棟A棟	_	_	照明器具改修
	令和2年 3月	附属中学校B棟	_	_	照明器具改修
	令和2年 3月	高畑団地	_	_	放送設備改修
	平成30年 9月	附属幼稚園B棟	_	18 m²	便所改修
	平成30年 10月	附属中学校A·B·C棟	_	_	屋上防水改修
	平成31年 1月	附属幼稚園A棟	_	63 m²	天井·照明落下防止対策
平成30年度	平成31年 1月	白毫寺管理室	S1	10 m ²	ユニットハウス新営
十队30年段	平成31年 3月	教育資料館	B1	330 m ²	耐震補強
	平成31年 3月	附属中学校管理棟	_	_	屋上防水改修
	平成31年 3月	ブロック塀・万年塀	_	-	金属塀に更新
	平成31年 3月	附属小学校A棟	_	_	照明器具改修



教育研究支援機構

Educational and Academic Support Organization

附置センターの学部・大学院教育へのサポート体制をより強化するとともに、地域と連携した活動を進展させるため、それぞれのセン ターの機能を調整し、センター全体として連携して大学教育をサポートしています。

In order to strengthen the support provided by affiliated centers to undergraduate and graduate education, and promote collaborative activities with the local community, we coordinate the functions of the various centers, and support university education through a team effort by all of our centers.



University Library

目 的

Purpose

教育・研究のため、図書・ 雑誌を揃え、学生及び教職 員のほか、地域の方へも貸 出しています。また、文献 検索及び文献所在調査等に より、調査・研究の援助を 行っています。



教員志望の学生が実践的教

育力や指導・課題探求の向上を図るため、多様な学修活動に対応し た「学修空間」として「ラーニング・コモンズ」や「グループ学習室」、 「えほんのひろば」を設置しています。

Library offers books, learned books and references for education and research. It helps students and faculty by providing information retrieval services for research and academic study. Citizens can utilize the library resources and they are welcome to use library books and sources for

To improve the practical education and instruction skills, and ability to identify issues, of students who hope to become teachers, we provide a Learning Commons, Group Study Room, and Ehon-no-Hiroba (picture book library) as learning spaces suitable for a variety of study activities.

主要施設

Main Facilities

閲覧室、ラーニング・コモンズ、 グループ学習室、AV 室、情報 サテライト室、えほんのひろば、 書庫、リフレッシュスペース Reading Room, Learning Commons, Group Study Room, Audio-Visual Room, Information Satellite Room, Ehon-no-Hiroba, Personal Stack, Refreshment Space



えほんのひろは

主な貴重書 Main Valuable Literature

永井家文書 21巻 17世紀

Nagai Family's Ancient Documents 21 volumes (the 17th Century)

興福寺南院文書 53 綴、17 枚(1533 ~ 1862 年) Kofukuji Temple South Hall's Ancient Documents 53 files of papers, 17sheets (the period from 1533 to 1862)

奈良晒 関係文書 77 綴 (1783~1882年)

Ancient Documents Related to Nara-Sarashi or Bleached Cloth 77 files of papers (the period from 1783 to 1882)

蔵書数 Number of Books

令和3年3月31日現在 As of Mar 31, 2021

		図 書 Books		雜 誌 Journals			
区 分 Classification	和書(冊) Japanese books (volumes)	洋書(冊) Foreign books (volumes)	計 (冊) Total (volumes)	和書(種) Japanese Books (titles)	洋書(種) Foreign Books (titles)	計(種) Total (titles)	
蔵書数 Number of Books	299,465	47,816	347,281	4,975	894	5,869	
令和 2 年度受入数 Acquisitions 2020	4,112	312	4,424	593	20	613	

図書館利用状況 Library Use

令和2年度 2020

	学 生 Students		教職員 Staff		学外者	Others	合 計 Total		
	貸出者数 Number of Borrowers	貸出冊数 Number of books Borrowed							
Γ	2,436	6,529	733	2,090	26	78	3,195	8,697	

教育資料館

Museum for Historical Materials of Education

目的

Purpose

我が国の学制発足以降にお ける奈良県下の初等中等教 育に関する資料を中心とし て、教育関係資料の収集及 び展示が行われています。 また、常設展(新薬師寺旧 境内展)、教職員及び学生



による特別展や企画展も開催しています。

This center collects and displays historical materials of education. The materials herein preserved are mainly those on primary and secondary education in Nara Prefecture since the enforcement of the first educational system in this country. The museum also plays host to a permanent exhibition (on the former grounds of Shin-Yakushiji Temple) and special and regular exhibitions by teaching professionals and students.

主要施設

Main Facilities

展示室(第1.2.3室)、貴重品等収蔵庫、 受入整理収蔵倉庫

Exhibition rooms(No.1, No.2 and No.3), safes for valuables, document file storage room



Building Space

346 m²



Display

奈良県下初等教育関係資料 Information and Materials of Elementary Education in Nara Prefecture

関係教員の美術工芸作品その他 Art Works and Others

新薬師寺旧境内出土遺物

Relics Unearthed from the Former Grounds of Shin-Yakushiji Temple







次世代教員養成センター

目的 Purpose

本センターは、教員養成の高度化と質保証を目的とする京阪奈三教育大学連携推進事業の一環で設置された「連 携拠点」の一つとして、平成 25 年 7 月 1 日に設置されました。ICT 活用を含む実践的教育力・指導力の向上、 課題探究力の向上を図るとともに、学び続ける教員の質保証に関わる事業及び研究開発を行うことにより、21 世紀社会を牽引する人材である次世代の教育を担う教員の養成に寄与することを目的としています。センター は、「情報教育部門」「ESD・課題探究教育部門」「情報基盤部門」の3部門で構成されています。

This Center was established on July 1, 2013 as a collaborative base under the Project for Promoting Collaboration of the Three Universities of Education in Kyoto, Osaka and Nara whose purpose is to raise the level of teacher education and ensure its quality. The Center's aim is to contribute to the development of teachers who will provide the next generation of education and lead society in the 21st century. This will be achieved by improving practical education and instruction capabilities, including the use of ICT, strengthening the ability to identify issues, and carrying out projects and R&D to improve the quality of teachers as they continue their education. The Center is comprised of three divisions: an Information Education Division, an ESD and Issue Identification Education Division, and an Information Infrastructure Division.



情報教育部門 Information Education Division

目的 Purpose

情報教育を推進することを目的として、教員の ICT 活用能力、ICT を活用した授業力の育成・向上、ICT 支援員の養成と認証、教員の 情報教育研修、デジタル教材の開発及び運用支援、双方向遠隔授業の企画・運用等を実施しています。

In order to promote information education, this Division carries out activities such as developing and improving the ability of teachers to use ICT in administrative work and classroom teaching, developing and certifying ICT support staff, information education training for teachers, support for development and use of digital instructional materials, and planning and use of interactive remote classes.

ESD·課題探究教育部門 ESD and Issue Identification Education Division

目的 Purpose

「教員養成カリキュラム開発領域」「ESD・教材開発領域」「学校・地域教育支援領域」「教育臨床・学校カウンセリング領域」の4つの 領域を設け、「学び続ける教員」を育むための学校現場と連携した教員養成モデルの開発と、課題探究を推進する実践的指導力育成プ ログラムを実施しています。

This Division is comprised of four areas: a Teacher Education Curriculum Development Area, ESD and Instructional Material Development Area, School and Community Education Support Area, and Clinical Practice in Education and School Counseling Area. The Division develops teacher education models linked with actual school classrooms in order to cultivate teachers who continue to learn, and provides programs for developing practical instruction capabilities to promote issue identification.

情報基盤部門 Information Infrastructure Division

目的 Purpose

学内共同教育施設として情報館を運営し、本学の情報処理についての教育・研究の中心的役割を担っています。 また、学内 LAN の管理・ 運営を行い、学内7カ所に約240台の共同利用パソコンを設置、3階実習室をアクティブラーニングスペースとして開放するなど、教育・ 研究のための共同利用の場を提供しています。

This Division operates the Information Processing Facilities (IPF) as shared educational resources of the university, and plays a central role in education and research relating to information processing at this university. It also manages and operates the university's LAN, has 240 computers for common use installed at 7 locations on campus, opens up the third-floor Practice Room as the Activity Learning Space, and otherwise provides spaces for shared use of computers for education and research.

次世代教員養成センターの主要施設

Main Facilities of the Teacher Education Center for the Future Generation

■ 1号館

Teacher Education Center for the Future Generation 1

主要施設

Classroom

Main Facilities

大会議室兼教室 Large Meeting Room,



主要機器

Main Equipment

テレビ会議装置、電子黒板、高速カラー印刷機

Teleconferencing system, electronic blackboard, high-speed color printer

Teacher Education Center for the Future Generation 2

主要施設 Main Facilities

多目的ホール、モデル教室、カウンセリングルーム、サポー トルーム、会議室、資料作成室

Multipurpose Hall, Model Classroom, Counseling Room, Support Room, Meeting Room, Printing Room





情報館 Information Processing Facilities

主要施設

Main Facilities

中央計算機室、集中監視室、実 習室、演習室、メディアルーム Central Computer Room, Monitoring Room, Practice Room, Exercise Rooms, Media Room



主要機器 Main Equipment

- ・ドメイン/ファイルサーバ Domain/File server
- ・インターネットサーバ (DNS/Mail/WWW/VPN/VOD/E-Learning etc.) Internet Servers (DNS/Mail/WWW/VPN/VOD/E-Learning etc)
- ・ファイアウォール装置 Firewall Device
- ・メールセキュリティ装置 Mail Security System
- ・共同利用パソコン Computers for common use 情報館実習室 Windows 10 Education 82 台 Practice Room in IPF: Windows 10 Education, 82 units 情報館演習室 A Windows 10 Education 33 台 Study Room A in IPF, Windows 10 Education, 33 units 情報館演習室 B Windows 10 Education 17 台 Study Room B in IPF, Windows 10 Education, 17 units メディアルーム Windows 10 Education 10 台 Media Room in IPF, Windows 10 Education, 10 units
- ・プリンターステーション Printer Station

■3Dプリンター室(技術棟内)

3D Printer Room (in Technology Building)

主要機器 Main Equipment

3Dプリンター

(フルカラー石膏造形機種) 1 台 3D Printer (full color plaster molding model), 1 unit

3 Dプリンター (樹脂造形機種) 1 台 3D Printer (resin forming model), 1 unit

非接触3Dスキャナ 1台 Non-contact 3D scanner, 1 unit



際交流留学センタ

Center for Intercultural Exchange and Studies

目的 Purpose

文化多様性教育に関わる実践的、理論的研究を学際的に行い、国 際的視野を備えた教員の養成に寄与するとともに、国際交流協定 大学などとの交流・連携に関わることで、派遣・受入留学生を支 援し教員養成大学としての国際交流を推進することを目的として います。

This Center conducts interdisciplinary research, both practical and theoretical, relating to cultural diversity education, and thereby contributes to the development of teachers with international perspectives. It also aims to promote international exchange, as a part of a teacher's college supporting exchange students studying both overseas and in Japan, by staying involved in exchanges and cooperation with universities which we have international exchange agreements with.



主要施設 Main Facilities

国際交流オフィス、国際交流室(留学生と日本人学生との交 流スペース)

International Exchange Office, International Exchange Room (space for interaction between international and home students)



自然環境教育センタ-

Center for Natural Environment Education

目 的

Purpose

学生・児童・生徒および地域住民を対象とした講義・実習・公開講 座の実施に加え、教育方法や教材の開発およびその他の研究活動を 通し、自然教育や自然環境教育を担う人材の育成を行っています。

奈良実習園 University Farm in Nara

建物面積

Building Space

564 m

土地面積

Total Land Space

11.034 m

主要施設 Main Facilities 講義室、資料室、加工室、作業室、農機具庫、温室 1 棟 Lecture Room, Material Room, Manufacturing Room, Working Room, Farm Implements Room, Green House

In addition to holding lectures, workshops, and public courses for children, students, and community residents, we are developing human resources to provide nature education and natural environment education, through development of educational methods and instructional materials, and other research activities. 奥吉野実習林 University Forest in Okuyoshino

建物面積 Building Space

611 m²

土地面積 Total Land Space

1,606,562 m²

平成23年9月に発生した 台風12号等の影響により、 現在施設の利用を休止して おります。

主要施設 Main Facilities

教育研究棟(講義室、標本室、研修室、工作室)

Education-Research Building (Lecture Room, Specimen Room, Study Room, Working Room)

宿泊棟(収容人数 34人)

Accommodation Building (Capacity; about 34)



特別支援教育研究センター

目的 Purpose

特別支援教育に関わる理論と実践に関する教育研究を総合的 に行い、特別支援教育を担う人材の育成、地域における児童 生徒等の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進していま す。センターには、児童精神科医、臨床心理士、作業療法士 などを配属しています。

The Center is comprehensively researching the theories and practices of special needs education, fostering human resources responsible for special needs education, and promoting special needs education in response to the educational needs of children in local communities. The Center staff includes a child psychiatrist, clinical psychologist, and occupational therapist.

発達相談 • 教育相談

Development consultation and Educational consultation

発達相談、心理発達検査、コンサルテーション、親子並行面 接を有料で実施しています。教員に対する教育相談も無料で 実施しています。

The Center is accepting children and their parents for paid-development counseling, psychological development tests, consultation, and parentchild parallel counseling. Educational consultation for teachers and educators is free.

子ども・親向けプログラム

Program for parents and children

学習支援プログラムやペアレント・トレーニングなど、発達 障害がある子どもや親に対しての専門プログラムを実施して います。

The Center provides specialized programs for children with neurodevelopmental disorders and their parents such as learning support program and parent training.





研修関連 Lectures

一般向けの公開講座に加えて、指導者を養成するための講座や特 別支援教育に関する研修会を催しています。

In addition to lecture series for the general public, the Center offers courses to develop instructors, and special needs education training seminars.

主要施設

Main Facilities

相談室、プレイルーム、学習室、事務室(憩いルーム) counselling room, play room, study room and office ("Ikoi" room)



理数教育研究センタ・

Center for Educational Research of Science and Mathematics

目 的 Purpose

現代的教育課題である「理数離れ」に対応し、21世紀の新世代 の人材育成に必要な新しい理数教育システムの構築に地域や現場 と一体となって取り組んでいます。本センターは、教材・カリキ ュラム開発や地域連携等の事業を推進する「教育プログラム推進 部門」、オープン・サイエンス・ラボ、アドバンスト・サイエンス・ ラボの運営や先端的研究機関との連携等を行う「先端科学教育部 門」等からなり、理数教育プログラムの開発、SST(スーパー サイエンスティーチャー)養成、公教育の支援のほか、理工系学 部との連携や国際協力等の事業を展開しています。

The Center is making efforts to deal with the trend away from "Science and Mathematics," which is a task of modern education, and is grappling with the construction of a new scientific and mathematics education system necessary for fostering of new generation of human resources for the 21st century in cooperation with the regional community and other educational sites.

The Center is composed of various departments including an Educational Program Promotion Department which carries out projects such as instructional material and curriculum development, and collaborative

tasks with communities, an Advanced Science Education Department active in areas such as operation of an open science laboratory and advanced science laboratory, and collaborative projects with advanced research institutions The Center is engaged in development of science and mathematics education programs, training of SSTs (Super Science Teachers), and support for public education, as well as activities such as collaboration with science and engineering faculties and international cooperation.





主要施設 Main Facilities

オープン・サイエンス・ラボ、アドバンスト・サイエンス・ラボ Open science laboratory, Advanced science laboratory

主要機器 Main Equipment

デジタル分光計、マイケルソン干渉計、光速度測定実験装置、 万有引力実験器、電子ビーム偏向管実験装置、静電現象実 験装置、電磁現象実験器、力学滑走台、カー効果実験装置、 ファラデー効果実験装置、ホログラフィー実験装置、3D 教材開発機材

Digital spectrometer, Michelson interferometer, light-speed measurement system, universal gravitation test system, electron beam deflection tube. electrostatic phenomenon test system, electromagnetic phenomenon test system, dynamical glide stand, Kerr effect test system, Faraday effect test system, holography test system, 3D educational material development system



主要施設 Main Facilities

診察室、静養室、処置検査室、相談室

Doctor's office, Temporary Rest Place, Treatment and Examination Room, Counseling Room

建物面積

Building Space

218 m

目 的 Purpose

健康増進のための指導・助言を行うとともに、性格、家庭、対人関 係等広く相談に応じるため、専門のカウンセラーを配属しています。

We are providing instructions on students medical problems. Student can consult with our counselor about their personal problem their campus lives as well as in their family and social lives.

主要機器

Main Equipment

解析機能付心電計

Electrocardiograph with Analyzing Function

心肺蘇生法訓練人形

Training Doll for Cardio-Pulmonary Resuscitation (CPR)

自動体外式除細動器(AED) Automated External Defibrillator (AED)



ポンプ機能を失った状態になった心臓に対して、電気ショックを与え、 正常なリズムに戻すための医療機器



福利厚生施設

Student Welfare and Health Facilities

■ 体育施設

Facilities for Physical Education



■ 学生会館

Students Hall



運動場 Ground	20,044 m	400mトラック、野球、サッカー、ラグビー 400m Track, Baseball, Soccer, Rugby		
体育館 Gymnasium	1,028 m	バスケットボール、バレーボール、バドミントン Basketball, Volleyball, Badminton		
弓道場 Japanese Archery Field	85 m²	弓道 5 人立 Japanese Archery 5 Persons		
武道場 Arts Gymnasium for Martial	401 m²	柔道場、剣道場 Judo Field, Kendo Field		
テニスコート Tennis Court	5,110 m²	7面 7 Courts		
水泳プール Swimming Pool	2,419 m	8 コース 50m 8 Courses 50m		

目 的 Purpose

学生の課外活動等、学生生活をより充実 するために活用されています。

The hall is used for students' activities for their refreshment and personal communication.

主要施設 Main Facilities

集会室、和室、談話室、同窓会室、 山田ホール

Meeting Room, Japanese-style Resting-Room, Common Room, Alumni Association Office, Yamada Hall

建物面積 1,227 m

Building Space

■ 課外活動共用施設

Facilities for Extra-curricular Activities



目 的 Purpose

本学学生の課外活動を促進し、豊かな人間形成に資することを目的として使 用されています。

Facilities for promoting extra-curricular activities to help enrich our students as rounded human beings.

建物面積

Building Space

702 m

主要施設 Main Facilities

会議室、多目的スペース、資料作成室、文化会室、体育会室、倉庫 Meeting Room, Free Space, Printing Room, Room for Cultural Clubs, Room for Athletic Clubs, Warehouses

■ 福利施設

Student Welfare Facilities



学生及び教職員のための福利施設として食堂・売店・書店等があり学生生活の 便宜を図っています。また、学生会館の談話室や食堂ホール横のアゴラ(広場) は、食事をしたり仲間同士で語り合う学生達の憩いの場となっています。

The welfare facilities such as a cafeteria, a stationary shop and a bookstore are available to the students, the teaching staff, and the officers. In addition, the lounge in the student hall and the public square called 'Agora'are utilized for the students' recreation and personal communication.





■ 学生宿舎

Dormitory



国際学生宿舎	100室		鉄筋コンクリート 2 階建
International Student House	100 rooms		Reinforced concrete two-story
橘宿舎	64 室	収容人数 64 人	鉄筋コンクリート 3 階建
TACHIBANA Dormitory	64 rooms	Max. 64 Students	Reinforced concrete three-story





■ 講 堂

Auditorium



目 的 Purpose

式典、学会、講演会、研究発表会、公開講座、演奏会に利用するなど、広い 分野で活用されています。

Our auditorium is used for some ceremonies, conferences, special lectures, open classes for citizens, musical performances and so on.

建物面積 Building Space

1,227 ㎡ 鉄筋コンクリート 2 階建

主要施設

Main Facilities

1階 1 Floor ステージ、ホール (564席)、 エントランスホール

Stage, Hall (564 seats),

Entrance Hall

2階2Floor ロビー Lobby





目 的 Purpose

本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究、並びに教育実習計画に従い学生の教育実習を実施するため、附属中学 校、附属小学校及び附属幼稚園を設置しています。

■ 生徒・児童数 Fixed Number and Current Enrollment Number

令和 3 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2021

	Total	244 VT WL	児童・生徒数 Number of Pupils						
区 分 Classification		学級数 Number of Classes	1 学年 1st. Grade	2学年 2nd. Grade	3学年 3rd. Grade	4学年 4th. Grade	5学年 5th. Grade	6学年 6th. Grade	計 Total
附属中学校 University Attached Junior High School	408	12	135	130	127				392
特別支援学級 Special Support Class	24	3	6	5	6				17
附属小学校 University Attached Elementary School	540	18	89	89	89	87	87	87	528
特別支援学級 Special Support Class	24	3		5	,	4	,	4	13

	₩ 亡 早			園児数 Number of children			
区 分 Classification	総定員 Total Capacity	年齢 Age	学級数 Number of Classes	3歳児 3year-old	4歳児 ^{4year-old}	5歳児 5year-old	計 Total
		3歳児 3year-old	2	30			
附属幼稚園 University Attached Kindergarten	108	4歳児 ^{4year-old}	1		33		106
		5歳児 5year-old	2			43	



附属小学校 University Attached Elementary School



附属中学校 University Attached Junior High School



附属幼稚園 University Attached Kindergarten



■ 教育学部・附属小学校・附属幼稚園

Faculty of Education, University Attached Elementary School, University Attached Kindergarten



建物情報 奈良教育大学·附属小学校·附属幼稚園



● 吉備塚古墳 Kibiduka Tomb



学内北側に位置する吉備塚古墳は、6世紀初頭頃築造されたと考えられ、古くから吉備真備の墓として伝承されてきた。近年、数回に渡る調査が行われ、多くの鉄製品など遺物が出土している。

● 新薬師寺旧境内遺跡

The remains of Shin-Yakushiji Temple



学内北東隅に位置する新薬師寺旧境 内遺跡は、平成20年に行われた校舎 改築に伴う調査で、8世紀中ごろの奈 良時代に建立された新薬師寺旧境内 の金堂跡と見られている。

4

■ 附属中学校

University Attached Junior High School



赤 谷 川 Akatani River

十津川村 Totsukawa-mura Village

実験実習地 Experimental Forest

宿泊棟 川原棚川 Kawarabi River

search Building

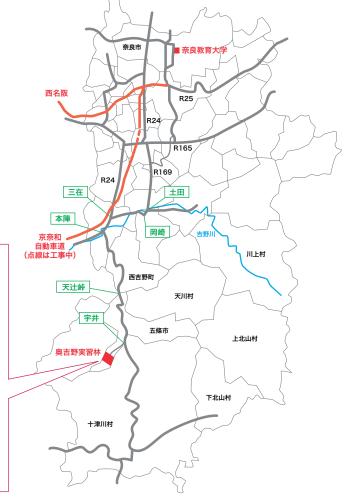
■ 自然環境教育センター

Center for Natural Environment Education

奈良実習園 University Farm in Nara



奥吉野実習林 University Forest in Okuyoshino



部局等 Admin	istration Offices	電話 Telephone		所在地 Location	
	教 務 課 Educational Affairs Section	0742-27-9124 FAX 27-9145			
	入 試 課 Entrance Examination Section	0742-27-9126 FAX 27-9145			
	学生支援課 Student Affairs Section	0742-27-9128 FAX 27-9146			
事務局	教育研究支援課 Educational and Academic Support Section	0742-27-9369 FAX 27-9147			
Administration Bureau	企画連携課 Planning and Partnership Section	0742-27-9296 FAX 27-9141			
	総務課 General Affairs Section	0742-27-9105 FAX 27-9141			
	財務課 Financial Affairs Section	0742-27-9112 FAX 27-9143			
	施 設 課 Facilities Planning Section	0742-27-9118 FAX 27-9144	〒630-8528	奈良市高畑町 Takabatake-cho, Nara City	
図書館	図 書館 University Library	0742-27-9137 FAX 27-9147			
University Library	教育資料館 Museum for Historical Materials of Education	0742-27-9297 FAX 27-9147			
次世代教員養成センター Teacher Education Center for the Future	2 号館 Teacher Education Center for the Future Generation 2	0742-27-9288 FAX 27-9288			
Generation Center for the Future	情報館 Information Processing Facilities	0742-27-9703 FAX 27-9291			
特別支援教育研究センター Center for Special Needs Education		0742-27-9314 FAX 27-9314			
国際交流留学センター Center for Intercultural Exchange and Studies		0742-27-9177 FAX 27-9177			
理数教育研究センター Center for Educational Research of Science and	Mathematics	0742-27-9333 FAX 27-9333			
自然環境教育センター	奈良実習園 University Farm in Nara	0742-26-1404	〒630-8302	奈良市白毫寺町 Byakugouji-cho, Nara City	
Center for Natural Environment Education	奥吉野実習林 University Forest in Okuyoshino		〒637-0406	五條市大塔町赤谷 Akatani Oto-cho, Gojyo City	
保健センター Health Care Center		0742-27-9138 FAX 27-9280	〒630-8528	奈良市高畑町 Takabatake-cho, Nara City	
附属中学校 University Attached Junior High School				奈良市法蓮町 2058-2 2058-2 Houren-cho, Nara City	
附属小学校 University Attached Elementary School	0742-27-9281 FAX 27-9283	〒630-8528	奈良市高畑町 Takabatake-cho, Nara City		
特別支援学級(附属小・中) Special Support Classes(University Attached Ele	0742-27-9284 FAX 27-9285	〒630-8528	奈良市高畑町 Takabatake-cho, Nara City		
附属幼稚園 University Attached Kindergarten	0742-27-9286 FAX 27-9287	〒630-8301	奈良市高畑町 354 354 Takabatake-cho, Nara City		
国際学生宿舎 International Student House		0742-26-4707	〒630-8301	奈良市高畑町 1252 1252 Takabatake-cho, Nara City	
橘宿舎 TACHIBANA Dormitory			〒630-8306	奈良市紀寺町 834 834 Kidera-cho, Nara City	



4月 5日(月) Apr. 5 (Mon.)	入学式 Enrolment Ceremony
8月13日(金)~ 9月30日(木) Aug. 13 (Fri.) – Sep. 30 (Thu.)	夏季休業 Summer vacation
11月18日(木) Nov. 18 (Thu.)	開学記念日 Anniversary of Establishment of University
11月20日(土)~11月21日(日) Nov. 20 (Sat.) – Nov. 21 (Sun.)	大学祭(輝甍祭) University Festival (Kibosai)
12月28日(火)~1月4日(火) Dec. 28 (Tue.) – Jan. 1 (Tue.)	冬季休業 Winter vacation
3月25日(金) Mar. 25 (Fri.)	卒業・修了式 Graduation Ceremony





■ 交通案内 Access





奈良教育大学学歌



国立大学法人 奈良教育大学概要

The National University Corporation Nara University of Education Campus Guide

発行 令和3年7月

Issued in July 2021

編集 国立大学法人奈良教育大学 総務課 Edited by General Affairs Section

〒630-8528 奈良市高畑町

TEL 0742-27-9104

https://www.nara-edu.ac.jp/ kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp

